

「楽しく素直に美しく」

国際ロータリー第2650地区
2003～2004年度
ガバナー 福井 正典

人それぞれ自分を支える言葉があるものです。

私は日頃「楽しく素直に美しく」生きたいと考えています。その達成のために、RIテーマ「手を貸そう」を実践したいと思っています。「手を貸す」はここでは「差しのべる」と解すべきでしょう。差しのべる思いやりの心にはより楽しく美しいものがあります。それは超我の奉仕とも言うべき御仏の慈愛の心です。

ロータリアンは素直に「手を差しのべ手を貸せる喜び」を味わってほしいものです。またロータリアン同士もお互いに手を貸し合ってください。この気持ちがロータリーを楽しくする源泉です。もしロータリーが楽しくなければ将来のロータリーは存在しません。ぜひロータリーを楽しくしましょう。

ロータリーにもいろいろな人がいます。顔の形や目の色が違うように、性格や経済環境、社会環境も各々違うでしょう。お互いに相手を良く理解し合って良いところは賞賛し、悪いところは手を貸すようにしましょう。

また地球市民として地元の地域と他国の地域にも手を貸しましょう。さらにクラブの役割りと地区の役割りを考え、違いのわかる奉仕をする必要があります。それはRIのテーマの達成を基本としながら、クラブの目標を地区の目標として支援することです。

2004年国際大会は日本のロータリアンとして得難いチャンスです。全員参加できる幸せを分かち合いましょ。手を貸し合ってロータリーを楽しく美しく100周年にリレーしましょ。

2003～2004年度2650地区は
国際ロータリーのテーマ達成を基本方針とします

「手を貸そう」 「Lend a Hand」



Lend a Hand

ロータリーの家族に手を貸そう
あなたのクラブに手を貸そう
あなたの天職に手を貸そう
あなたの地域社会に手を貸そう
世界に手を貸そう

ロータリーを楽しくしましょ

楽しくするために 手を貸し合い RI 会長賞を目指しましょ

Lend a Hand — 手を貸そう



2003-2004年国際ロータリーテーマを執行しよう



「知り・楽しもう」

国際ロータリー第2650地区

2003～2004年度 ガバナー

福井正典

楽しいクラブづくり

向日葵ひまわりの季節を迎えました。この花は、いつも太陽に向かって咲くといわれますが、私どもも、ロータリーの使命感にベクトルを合わせて歩みたいと思います。

本日より新しく2003～2004年度がスタートするだけに、特に、新会長・幹事のみなさま、よろしく願いいたします。

ここに歴史と伝統あるR I 2650地区の諮問委員、直前ガバナーを初め地区指導者元・前クラブ会長・幹事様に感謝申し上げます。

そして本年度の地区指導者のご協力とご支援のもとに、この厳しい社会経済状況に対応したクラブと地区の運営管理にリーダーシップをお互いに自信と誇りを持って行動しましょう。100年に一度の京都・大阪での国際年次大会年度の会長・幹事・ガバナーとしての幸せに感謝申し上げ、ロータリアン一人一人の理解と協力のもとに成功させましょう。

会長幹事さんの善意と寛容による楽しいクラブづくりを期待します。

善行は氷山の一角

ロータリーの中にあるもの、それは善行だけではありません。善行というのは、氷山の一角のように、その下に隠された大きな何ものかが、外に姿を現したにすぎないのです。

ロータリーの沢山の善行のかけには、目に見えない力が働いているのです。それは善意の力です。その善意の力によって、ロータリーは存在しているのです。

ポール・ハリスが訴えること

友情はロータリーを築く岩のように堅固な土台であり、寛容の精神は、ロータリーを結びつけるものです。

もし、この寛容の精神がなければ、各ロータリー・クラブのあふれんばかりの原子力エネルギーで、ロータリーは粉々になってしまうでしょう。

ロータリーの事業と専門職務に携わる人の間に世界的な親睦をつくることのできたのは、寛容の精神のおかげですが、この寛容の精神をもってすれば、世の中に不可能なことはなくなるでしょう。

寛容とは心が広く、人の過ちを許す。人の言うことを広い心で聞き入れる。ゆったりとしてこせこせしないこと。

これらの高い精神と気持ちでロータリーの基本を知り、ロータリーを楽しもう。

いま考えるべきこと 為すべきこと

2003～2004年度国際ロータリーテーマのもとに、ジョナサンB.マジリアベRI会長のプログラムを地区並びにクラブ及び会員に徹底実行させる義務と責任をもちましょう。

「ロータリーの綱領」を実現するために、「超我の奉仕」をモットーに、常に「四つのテスト」に照らして、言行しましょう。

手続要覧を熟知して、実践哲学を実行しましょう。

「職業宣言」「職業奉仕四つの反省」をもとに、自分の職業に誇りと愛情と責任を持ち、道徳的水準を高め、そして、同業者や競争者と親睦を深めましょう。

地域全体が「超我の奉仕」をモットーにし、相手の気持ちになって、善意の行動をする。多くの人々に奉仕の行き渡る地域にするために、退会防止、会員増強、拡大に努めましょう。

新世代の将来の日本、大きくは世界のために若い将来を担い未来を開く児童、青少年、若成人育成をしましょう。

茶道の精神「和敬清寂」、ロータリーの「超我の奉仕」のもと、相手の心での動作に心掛けて、千玄室RI元国際理事の提唱されます。「一碗からピースフルネスを」一服のお茶を通じての世界平和の実現に努力しましょう。

お互いが師となり徒となる

最も大切なことは、お互いに自分を守ること、自分を権威あるものにします。自分の職業を通じて、奉仕する心を育てます。そして、相手に対して、思いやりの心を持ち、品格のある人間として、お互いが師となり、徒となり、自分以外皆師と考え、相手の良い点を見つけ出して、悪い点をカバーします。そして心から信頼し合える礼に始まって、礼に終わる自然な付き合いを家族ぐるみでできる、楽しく、素直で、美しいクラブにします。そして、みんな楽しい、しかも権威のある立派な人が入っておられるクラブなら、私も入れてもらえないと言われる、羨ましがられるクラブの集まりの地区にしましょう。

「無二智」「任運無作」「布施一法施・財施・顔施」「無声呼人」「顧客満足」「品質とサービス」「楽しく・素直に・美しく」を信条としよう。

お互いに「超我の奉仕」を実践し、自分が変わり、クラブが変わり、地区が変わり、ロータリーを変えるために古い考えや過去の成功体験も捨て、IT時代に勝ち続けるロータリアンになりましょう。

以上の実行についてご支援をお願いします。

表彰すること—やる気を起こすこと

さて、地区内のコミュニケーションは奉仕プログラムと地区管理の成功に不可欠です。その鍵となるのがガバナー月信と云われております。

月信の3つの重要な目的は、「情報を提供し、」「やる気を起こさせ、」「表彰すること」であります。

月信の理想的な責務は来る月々の奉仕の機会に注意を促し、クラブ指導者に自己の任務を果たし、奉仕の課題に応えるようにするものであります。

強力、積極的かつ活動的な委員会の重要性および各クラブ会員が自身に相応しい任務を担うことの重要性和予算に沿った運営の重要性を理解し、強調しましょう。

各委員会が明確な年度目標を持っているか確認しましょう。

地区にあなたのクラブの目標を明示して、全てのクラブがそれらの目標を認識するようにし

ましょう。

クラブの目標を地区の目標として、この地区目標の達成状況を最新にしましょう。

効果的なクラブとなるために、地区ガバナー、ガバナー・エレクト・ガバナー補佐、地区委員会、その他の地区指導者と明白なコミュニケーション網を持ちましょう。

クラブのことを一番よく知っておられる会員の協力のもとにクラブ会長 幹事さんを適切適時に、ガバナー補佐と共に支援したいと考えます。

知り合いの輪を広げよう

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹・育成すること；

第1 奉仕の機会として知り合いを広めること；

ロータリーの第1奉仕部門、ロータリアンが、クラブを円滑に機能させるためにクラブ内で講じる措置に関するものであります。

顔と顔を合わせ 心と心を通わせる

ロータリーは例会に出ることが原点・例会出席の本分とは

* 例会に出ることで、異業種の方々と色々対話できる。今の世の中、そういう機会が減ってきている。Eメールでやりとりして、友達になったつもり、実際はそうでないことも多い。ロータリーこそ「対話の場」を提供しています。

* 例会でお互いが顔と顔を合わせ、心と心を通わせて職業の情報を伝え合い、お互いの心を洗って、少しでも自己を高めていく。それが例会出席の本分であります。

分かち合い・広げあい

ロータリーの目的の本質は、個人による奉仕の理想の実践という責任の受諾にある。そして、重要なのは、その責任の中には個々のロータリアンが他の人とロータリーを分かち合い、適格者を会員に推薦することによって、ロータリーの拡大、広げあいに助力するという義務も含まれているのを認識することにあります。

あなたの道は友人によって開かれ広げられる

あなたの道はよい友人によって開かれ、広げられる。即ち、良い友人を持てば、あなたの職業は自然に発展するでしょう。お互いの幸せのためによい友人となりましょう。もし、融和できぬ要因があるとすれば、それを取り除く努力をしよう。先輩であろうと、新入会員であろうと、すべて話し合えばすぐに「真正な・優れた・親切な・面白い」良い友人となるでしょう。

魚を与えるより魚釣りのやり方を教えよう

今月7月 識字向上月間、永年にわたりロータリアンは、学校を設立したり、教師に報酬を支払ったり、個人教授を務めたり、図書館への本や視聴覚教材の収集及び配布にあたりたりして非識字率の減少に積極的に当地区もクラブ独自でも尽力していただいております。更に各クラブが識字能力向上プロジェクトを強調し、世界的に非識字を撲滅しましょう。

危険の標示があっても、非識字の為に地雷の危険に会っている青少年を救いましょう。貧困だから教育が受けられない、字が読めないから危険が多くなります。生産性が低いからより貧困になります。そして紛争が起こります。難民になります。ポリオの発生が多くなります。

そこでそのままの魚を与えて一日食べさせるより、魚釣りの道具を与え、魚釣りのやり方を教えたら毎日が食べて行ける様になります。日常生活に必要な技術を教えましょう。読み書き

及び簡単な算数は、進歩と繁栄に不可欠であるだけでなく、現代社会で生存していく上で必要なものであります。識字および計算能力の向上に関するプログラムは国を築き、貧富の差や紛争をなくし、貧困を少なくし、ポリオの撲滅にもつながります。

先ず識字能力向上がすべての基本であることを強調し、世界の地域での平和のために自助・自立を助けましょう。

お願い

- ◇ 8月の会員増強および拡大月間の立案をしましょう。
- ◇ 9月の新世代のための月間の立案について今一度確認しましょう。
- ◇ 国際大会京都デー
2004年5月22日から始まります。23日～26日 大阪大会に全員参加しましょう。
- ◇ 地区大会
11月15日～16日への参加推進をお願い致します。

以上、の実現に、お1人おひとりの「手を貸そう」ではありませんか。



岡村吾郎直前ガバナーに感謝

—— 岡村吾郎直前ガバナーに心から感謝とお礼を申し上げます。 ——



吾郎ガバナーと、つついとお呼びしたくなるように親しみやすく、心温かく、しかも人間味あふれるお人柄に接することができ、この一年間、第2650地区は、本当に幸せでした。岡村ガバナーがごあいさつなさるときは、必ず抒情的な、季節感を感じさせる、スピーチを、毎回聞かせていただきました。おかげさまで、ロータリーを取りまく厳しい環境の中で、「ゆとりの心」を持つことができました。

また第2650地区の伝統を活かしながら、さらに新しい方向を求める姿勢、あらゆる面が無駄を除こうとするお姿に感銘を受け、共感して、ついて参りました。特に、地区大会は天平時代を彷彿させるような素晴らしい、意義ある、記念すべき大会だったと感服いたしました。

私の年度も、この姿勢を継承しようと思っておりますし、また、地区大会でも私なりの新機軸を生み出したいと考えております。

この一年、奥様の内助の功を間近に拝見し、岡村ガバナーご夫妻のお人柄を手本にしようとしてきた一年でもありました。本当にありがとうございました。

「常に心して 歩いた後に平和の花を咲かせましょう」を引き継ぎ、RIテーマ「手を貸そう」を実行し、ロータリーの花を「楽しく素直に美しく」咲かせたいものと思っております。

なにとぞ、「ロータリーを楽しくしましょう」という私の思いに、岡村直前ガバナーの手を貸してください。

今後ともよろしくご指導を賜りますようお願い申し上げます、岡村直前ガバナーの益々のご壮健と、引き続き第2650地区にご貢献賜りますことをお願い申し上げます、お礼の言葉といたします。



ガバナー補佐 2年目を迎えて

ガバナー補佐 増田 善宏 (福井RC)



岡村直前ガバナーからガバナー補佐を任命されてから早くも一年が経ちました。そして今年度改めて福井ガバナーから福井県担当のガバナー補佐として任命されたのであります。岡村年度はDLPが発足一年目という事で慣れない事も多く岡村様をはじめ皆様に多大のご迷惑をおかけした点をお詫び申し上げます。今年度福井ガバナーには前年度で経験した事をふまえて又ご指導を賜わりながら出来る限りのご協力をさせて頂く心構えであります。特に今年度は行事が多く控えております。最大の行事は2004年5月23日～26日に大阪を中心に行われる国際大会であり会員への出席を働きかけると共に、その前に行われる京都デーには2650地区挙げての行事であり全力を注がねばならないと考えています。それに伴って地区大会も半年程早まり今年の11月15日・16日の両日京都で行われますが、時期が早まったこともありこれへの全員の協力を得られる様、努力して参る所存です。

又次年度神谷ガバナー年度にはロータリー創立100周年となり、その記念行事が今年度から始まります。即ち100周年記念委員会の発足は、その行事内容を各クラブで具体的検討をお願いして参ります。

又今年度はジョナサンB.マジリアベRI会長の特別の指示で会員増強と退会防止のため家族委員会が各クラブで設置される事になっています。これについては前年度渕上地区ロータリー情報委員長がガバナー月信5月号でご説明がありましたが、これの周知徹底を図り所期の目的達成に役立てねばならないと考えています。

それから今年度からロータリー財団の仕組みが変更になります。細かな点は7月に行われる地区ロータリー財団セミナーにてご説明がなされると思いますが、要は財団への寄付は今まで以上に、そして教育的プログラムや人道的プログラムは充実されDDFの扱いがより行い易くなったという事でありこの点にもよく留意していく所存であります。

会員増強には一層努力し、又クラブ拡大において福井県では、福井あじさいRC、敦賀西RCの2クラブを経験しておりますが、更に機会があれば更なる拡大を心掛けるつもりであります。

福井ガバナーの公式訪問には全部同行し、ガバナーのご指導を受けながら私自身も勉強すると共に、ガバナーには全力を尽して協力をして参ります。どうかよろしくお願い申し上げます。

再度ガバナー補佐として

ガバナー補佐 石田 喜之 (大津RC)



2003～2004年度国際ロータリー第2650地区ガバナー補佐を拝命いたしました大津ロータリークラブの石田喜之と申します。

思い起こせば一昨年12月に岡村吾郎2002～03年度ガバナーより当2650地区で初めて導入されたガバナー補佐のご指名を受け、昨年度1年間その任に当たらせて頂きました。地区の諸会合はもとより、私が担当いたしました滋賀県内22クラブの会長様との懇談や、IM第1組への参加等の活動を通じて微力ながら岡村ガバナーのお手伝いをさせていただくとともに、滋賀県内22クラブの効果的なロータリークラブ活動を拝見させていただきました。そして昨年秋に、福井正典ガバナーより図らずも再度ガバナー補佐をせよとの命を受けました。まさに「留年」という形になったわけではありますが、当地区内で徐々にその「名」が知られるようになってまいりましたガバナー補佐制度に「実」を加えるべく1年間の経験を踏まえて微力ながら福井正典ガバナーを補佐させていただく所存であります。

2003～2004年度福井正典ガバナーは「楽しく素直に美しく」のスローガンを提唱され、ロータリーを楽しくしましょうと呼びかけておられます。そのことはジョナサンB.マジリアベ2003～04年度国際ロータリー会長のテーマである「手を貸そう」の実践としてロータリアンに手を差しのべ手を貸せる喜びを味わってほしいと仰っておられます。

私が担当させていただく滋賀県内22クラブとの会長様とは6月に意見交換をする場を設け、お互いの意思疎通を図るべく活動をすでに開始しておりますが、本年度は各クラブへのガバナー公式訪問に同行し、そ

れぞれがすばらしい個性をもって活動されている各クラブを理解することに力をそそぎたいと考えております。そして、福井正典ガバナーが適切に各クラブへ手を差し伸べていただけるようサポートできれば幸いに存じます。

広く地区内に目を転じますと本年度は記念すべき2004年国際大会が当地区をはじめ4地区との共催により大阪の地で開催されます。我々地区内のロータリアンにとって得がたい経験となるよう願っています。

どうか、この1年が福井正典ガバナーのもとすばらしい1年になるようご協力をお願いするとともに、来るべき2004年国際大会あるいはその翌年のロータリー100周年に向け有意義な1年となることを祈念して就任のご挨拶とさせていただきます。

ロータリーのルールを考える

ガバナー補佐 寿栄松 憲昭 (京都RC)



ガバナー補佐を命じられてから、いままで不勉強であったロータリーのルールを手続要覧などで、調べることがある。この300ページを超える要覧は甚だ難解で、多分法律家が作った文を無理やり和文に翻訳したようで、ちょっと読んだだけでは素人には理解できない。世界中のRCや地区を纏め上げるにはこれだけ書いておかないと十分でないのかもしれないと思いながら読み進むと、48ページに「RIの管理」という項に、次のような文が見つかった。

“RIの管理の基本原則は、加盟RCの大幅な自治である。管理に関する定款および手続上の制約は、ロータリーの基本的かつ比類ない特色を保持するうえで必要最小限にとどめられている。この範囲内で、特に各地域において、RIの方針を解釈、実施するに当たって最大限の柔軟性が認められている。(ロータリー章典26.030.)”

要するにRIはRCにあまりごちゃごちゃ言いませんよ。RCは自分でしっかりやりなさい。ということのようである。そこで要覧を少しじっくり読んでみると、文の末尾に「・・・あってもなくてもよい」「・・・奨励されている」「・・・避けるべきである」「・・・望ましい」といったことが沢山見当たる。「・・・でなければならない」といった強制しているのは、それほどないのに気がついた。どうも日本のロータリアンは、RIがいうことは金科玉条、絶対守らなければならないと思って行動しているが、実はそうではないようだ。小谷元RI理事や堀場PGが会議でよく言われる「法三章」の話や「沢山のメニューの中からクラブの食いたいものを選択して」というのは、こういうことであった。

とはいってもすべてのルールを無視してよいということにはならない。ロータリーには立派な「綱領」があって、基本的な原則を示している。「フォア ウェイ テスト」は簡潔ではあっても、日々の行動指針として極めて大切である。また先輩ロータリアンは「ロータリーは紳士の修養道場である。単なる社交クラブではなく、まして昼飯会ではない」といわれた。このような簡単かつ短い表現で、ロータリーを規定している言葉は、ルールとしても是非とも守らなければならない。というよりは、それだけはしっかりと守るべきである。

今年度こそお役に立ちたい！

ガバナー補佐 森 泰健 (福知山RC)



いよいよ2003-04年度の幕あけです。当地区において、3年間の試験的プログラムによってDLPが実施され、ガバナー補佐制が採用され2年目になります。

ガバナー補佐研修セミナーにおいて、ガバナーの労力を和らげ、より重要な事柄に力を注ぎ、地区レベルでコミュニケーションを円滑に、また効率化して、さらに地区の発展に継げようとの目的を知りました。

昨年度は初年度でもあり、小生の対応が不十分であり、お役に立てなかったと反省しております。

しかしRIが示されるガバナー補佐の任務をすべて実行することは、多岐にわたりすこぶる困難であろうと思われまふ。しかしながら今年度福井ガバナーの方針に沿うよう努力したいと思ひます。

とくに、2004年5月には、今年度の国際大会が大阪において開催されますが、出来る限りの協力をし、盛大裡に円成しますよう祈りたいと思ひます。かつて東京で世界大会が開催され、実に印象深かつたことを想ひ出します。

私の所属する京都北部各クラブの皆さま、引続き大役を頂戴いたしましたが、御承知のような未熟者でございますので、何卒ご支援くださいますようお願い申し上げます。

ガバナー補佐として

京都南部地区担当 ガバナー補佐 吉村好司(京都山城RC)



京都南部地区亀岡、亀岡中央、園部、京都乙訓、京都西山、宇治、宇治鳳凰、京都城陽、京都八幡、京都田辺、京都山城の11クラブのガバナー補佐を担当させていただきます。至らぬ者でございますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

既に5月20日から6月19日まで、担当11クラブの例会に出席し、前年度の御礼と、今年度のお願いをさせていただきました。いずれのクラブも会員数60名を超えるところは無く、26名の小クラブもございます。各クラブとも同じ様な問題を抱えながら、会長以下会員の皆さんが、終始熱心にまた和気藹々と、例会や委員会に出席されているお姿を拝見いたし、敬服且つご同慶に存じた次第でございます。

ジョナサンB.マジリアベRI会長が、本年度提示されている「手を貸そう」の実践を目標に、私は、福井ガバナーと各クラブ会長との間にあって、何かお役に立つことがあれば、補佐させていただき所存でございます。

特に今年度は、来年5月大阪でRI国際大会が開催されます。第2650地区を含む4地区共同ホストで行なわれますが、千玄室元RI理事が大会委員長を務められることもあり、私ども第2650地区のロータリアンは、この成功のために全力投球でまいりたいと存じます。

この国際大会のため、地区大会が11月に繰り上げ実施となりました。けいはんな学研都市・同志社キャンパスで開かれますが、多くのロータリアンのご参加を希望いたします。

何かと、ご協力・ご負担のお願いの多い年度となりますがご理解を賜りますようお願いいたします。

再来年はロータリー創立100周年でございます。100年も続き、全世界で110万人を超える会員に、魅力と希望と活力を与え続けるロータリーとは、そもそも何か？ 私は一度原点に返って考えたいと思っております。

今年一年も皆様のご支援とご鞭撻をいただきながら、ガバナー補佐の任務を全うさせていただきたいと存じます。

どうぞ宜しくお願いいたします。有り難うございました。

これからのロータリーはいかにあるべきか

ガバナー補佐 南野寛二(檀原RC)



2002年10月19日IM4組(奈良県・五條RCホスト)開催の会場でアンケートをお願いし集計したものが右記の結果です。この設問は1982年京都の地区大会で実施された内容と全く同じで、20年経過した今日とったYesの結果と対比して考える時、ロータリアン自身の意識の変化がわかって興味深いものがあります。

1982年の地区のフォーラムの時と完全に比較は出来ませんが、1つの目安としてご覧下さい。喜ぶべきものと憂慮すべき結果にご注目下さい。

ロータリアンとして、また各クラブの取組にこの結果を参考にして、本年度ロータリー活動を楽しく、「慈愛の心で手を貸そう」に向ってお互いに努力しましょう。

2002年10月19日 2650地区 IM4組(奈良県)アンケート集計 結果

今回全回答数 241

1) 現代におけるロータリーの意義

設 問	1982 地区	今回 Yes%
第1問 あなたはロータリアンであることに誇りを感じますか？	93.0	80.8
第2問 あなたはロータリー例会出席100%遂行に意味を感じますか？	73.4	55.8
第3問 あなたはロータリーが本当に楽しいところだと思いますか？	57.6	57.1
第4問 あなたは今迄にロータリーを退会したいと思ったことがありますか？	43.2	50.0
第5問 あなたは今迄にロータリーを重荷に感じたことがありますか？	63.0	52.1
第6問 あなたは自分の息子をロータリーに入れたいと思いますか？	70.4	57.9
第7問 あなたは女性もロータリーの会員にすべきだと思いますか？	30.2	75.4
第8問 あなたはあなたの地域社会がロータリーの存在を高く評価していると思いますか？	27.0	25.0
第9問 あなたはロータリーが今後もクラブ数、会員数を増加すべきであると思いますか？	45.4	50.0
第10問 あなたはロータリーはこれからはクラブの内容、会員の質を向上すべきであると思いますか？	90.6	92.1
第11問 あなたはロータリーが職業上のモラルの向上に役立っていると思いますか？	74.6	70.4
第12問 あなたはロータリーが地域社会の発展に役立っていると思いますか？	40.8	57.5
第13問 あなたはロータリーが青少年の育成に役立っていると思いますか？	42.0	70.0
第14問 あなたはロータリーが国際理解の向上に役立っていると思いますか？	64.2	72.5

2) 人と人とのふれあい 家庭で、職場で、社会で

設 問	1982 地区	今回 Yes%
第1問 あなたは例会で他のロータリアンと心を開いてよく話し合いますか？	72.6	82.9
第2問 あなたは何か困ったことがあったときにまずロータリアンに相談しますか？	21.4	35.0
第3問 あなたは他のロータリアンから相談を受けたとき真剣にこれに応じますか？	85.6	91.3
第4問 あなたは「どこであっても、やあと言おうよ」を実践していますか？	42.2	71.7
第5問 あなたは家庭で家族の人たちとよく話し合いますか？	78.8	82.5
第6問 あなたは子供や孫の教育について家族の人たちとよく話し合いますか？	79.4	76.3
第7問 あなたは職場で同僚や部下の人たちとよく話し合いますか？	79.2	80.4
第8問 あなたは職場の改善について同僚や部下の人たちとよく話し合いますか？	77.0	74.6
第9問 あなたは若い人たちと積極的に話し合いますか？	63.6	75.0
第10問 あなたはよく若い人たちの悩みについて相談を受け応じることがありますか？	50.0	60.4
第11問 あなたは地域社会をよくするために近隣の人たちとよく話し合いますか？	41.4	57.1
第12問 あなたは海外の人たちとよく文通をしますか？	18.2	15.8
第13問 あなたは海外から訪れた人たちをよくもてなしますか？	40.6	50.4

親愛なる同僚ロータリアンの皆さん

2003-2004年度国際ロータリー会長 ジョナサン B. マジリアベ



今の私たちの世界では、幾百万という人々が、貧困のどん底生活をしているのです——彼等の胃袋は空っぽです。彼等の胸には絶望以外なものもありません。世界の最も貧しい国々では、男も女も着るものが無くて文字通りボロをまっています。子供達はハダカで走り回り、そのやせ衰えた身体は栄養失調の典型です。健康管理にも教育にも全く無縁ですから、病気と無知にさいなまれ、次ぎの世代も、よりよい暮らしへの希望など全く持てずに育ってゆくのです。

これが世界中途上国のどこでも見られるありふれた不気味な筋書きです——こういうことは多くのロータリアンがよく知っています。多年にわたってロータリー・クラブや地区は、人々が食糧、衣料、住居に事欠く地域で発生する深刻な問題に取り組んで来ました——清潔な水、学校、診療所等はもちろんのこととして…

貧困にも色々違った顔があります。私の祖国アフリカでは、貧乏神は悲惨な顔を見せています。比較的恵まれた国では、貧乏神はしばしば顔を隠していて、実際にそれが存在しても、無視されたり、存在自体が安易に否定されたりもします。しかし世界中殆ど何処の地域でも、そこは人々にとって深刻な何かを抱えている家宅なのです。私はロータリアンの皆様をお願いしたい…目を開いて周囲を見回し、住居、健康管理、食糧、その他生産的生活の基本に事欠く人々の問題に同情をよせ、実際効果があがるように取り組んでくださいと。

大部分のロータリアンは比較的快適に暮らせる幸運に恵まれています。今日の「地球村」では、戦争、飢饉、自然災害の影響がこの惑星上の至る所に止めどもなく押し寄せ、平和な世界への道をふさいでいます。かくも多くの世界に起こる騒動に火をつけ更に油をそそぐのは、貧困から生まれる絶望なのですから、いやしくも私達が平和という究極のゴールに到達しようとするなら、私たちロータリアンはまず希望を与えなければなりません。2003-04年度、私はロータリアンの皆さんに、真っ正面からこれに挑戦して貧困を減らすことを、第一番の目標とされるようお願いします。

この運動の重要戦略は女性に対する教育でなければなりません。途上国世界の大部分を通じて識字率は女性の方が男性よりはるかに低いのです。こういう教育資産の不均衡から、一般的に子供の教育に対する女性の責任が軽視されることとなります。読み書きできる女性は、その技量を子供たちに伝え、そして次ぎの世代がまた更に高い識字力を身につける様になる事は間違いないでしょう。

私たちはまた、小口金融プロジェクトによって貧困と戦うことが出来ます。これは小規模の新規事業を立ち上げようとする場合——主として女性ですが、多くの場合通常の融資になじまぬ人に、小口金融の道をつけるものです。たとえUS100ドルの少額でも、こうした駆け出しの素人企業家達は、貧困の悪循環を断ち切って家族を養うことが出来るようになります。小口金融が成功すればその成果として地域社会全体が、何もないハダカ暮らしから明るい未来へ向かって希望の持てるものになって行くのです。

2003-04年度、国際ロータリーは、ロータリー百年祭の一環として双子クラブのプロジェクトに着手します。このプロジェクトは、貧困が私たちの世界に引き起こしている惨事を少なくしよう、ということで提携するクラブに絶好の機会を与えるものです。世界社会奉仕とロータリー財団の人的補助金を通じて、私たちは

苦しみをいやし、希望と安定と、平和への新しい機会をもたらすべく、海を越え国境を越えて仕事ができるのです。

もしロータリアンが貧困とそれによって生ずる数々の悪影響を緩和することに成果を上げようとするなら、私たちの組織を強化し会員増強を推し進めなければなりません。私は2003-04年度において、根元的な会員増強という焦点をはずしてはならぬと確信しています。また新しい会員を引き入れても私たちが何もせず、彼等を活動的にし有意義なプロジェクトに巻き込む事を怠っては意味がありません。私たちは彼等をクラブに馴染ませ、彼等が親密で頼りになるロータリー家族の一員であると感じるようすべきです。

更にまた私たちは、資格の有る男女とロータリーを分かち合う責任をないがしろにはいけません。この点に関して特に私は、クラブがもっと女性会員を増やす様に奨励したいと思います。事業や専門職に従事する女性指導者の数は急速に増え続けていますが、ロータリーにおいては悲しむべきほど少ない数です——女性は全会員数の10%にも満たないのです。そして20以上の国のクラブではまだ女性会員が一人も居りません。1989年以降ロータリーに加入した女性たちは会員数の維持、下振れ防止の力となり、クラブの奉仕活動を大いに強化し、そして国際ロータリーに対してもまた同様目覚ましい貢献をしました。この最初の10年間に女性会員が果たした有益な役割を認めて、2001年の規定審議会とRI理事会は、両性クラブの推進を奨励する事にしました。実際に国際ロータリー細則には、いかなるクラブも性別によって会員を制限してはならぬと具体的に明記されています。今や適格な女性を積極的に探し求めて会員に迎え入れることは、クラブ・レベルにおける会員の義務です。

2003-04年度、私たちを奉仕の道に導くために、私は全ロータリアンに**手を貸そう**と呼びかけています。これは単純なテーマではありますが、しかしロータリー奉仕の真髄を雄弁に語るテーマだと確信します。ロータリアンとして私たちは、地域社会やまた世界に対して常日頃、**手を貸しています**。私たちは私たちのクラブ会員や、また海外にあってその地域社会の問題に取り組み援助を求めている同僚ロータリアンに**手を貸しています**。この単純な仕草が時として一人の人間の人生を変える要件のすべてともなるのです。またそれとは違って、一本の手が多数の手となることだってあります…ロータリアンが互いに協力し合ってポリオを根絶させたり、識字力を向上させたり、低価格住居を供給したり、また紛争を解決し、数多くの人々の苦しみを和らげたり…とすることになるのがそれです。どこにあって必要とあれば助けてあげる、というのが私たちロータリアンの本性です。そこで2003-04年度、私はロータリアンの皆さんに、**手を貸そう**という機会を更に多く、自ら進んで探し出すようお願いします。

さあ皆さん、助けてあげねばならぬ私たちの兄弟姉妹に、進んで私たちの手を差し伸べて、2003-04年度のロータリー年度を始めましょう。相共に働き続けても、ロータリー援助の手に、これでおしまいということはありません。



ジョナサン B. マジアバ
2003-2004年度国際ロータリー会長

識字率向上プロジェクト支援の行動計画を！

国際ロータリー 2003-2004年度 識字および教育推進グループ
第3ゾーン・コーディネーター 大久保 昇(京都西南RC)

識字率の高い日本では想像しにくいことですが、世界には、文字の読み・書きのできない非識字者が約10億人いるといわれています。これは、15歳以上の大人の4分の1に当たりますが、その4分の3がアジアの住民で、非識字者の3分の2は女性であります。



また、世界で1億3千万人の就学年齢児が学校に行けません。家庭の貧困がその原因ですが、せっせっかく入学した子供も3分の1は小学校を卒業していません。これら不就学児はそのまま非識字層につながり、将来の就職もままなりません。

現在の文明社会において、文字文化から隔絶されて生活するという事は、社会から置き去りにされることを意味します。非識字者は就職も困難になり、それに起因する貧困がさらにその子供の就学の機会を奪います。

世界の人口は60億を超え、さらに年間1億人(メキシコの人口と同じ)も増えつづけていて、その99%は途上国の人口です。このまま人口が増えつづけると、非識字層はますます増えつづけることになるでしょう。非識字と貧困の悲惨な悪循環を生みだしているわけです。

ニューヨークでの同時多発テロの原因も、つきつめていくと貧富の差に根ざしているといわれておりますが、これに私たちは強い危機感をおぼえます。

現状を放置しておいては、私たちは平穏な地球、平和な世界をつぎの世代に引き継ぐことはできないでしょう。

R.I.では、この非識字問題こそ諸悪の根元であると考え、1997年の理事会で、7月を「識字率向上月間」に指定し、さらに2005年までのR.I.強調事項として「識字および教育推進」を決定しました。

たまたま国際連合も、2003～12年までの10年間を「世界識字10年」に指定しました。

今や、「識字および教育推進」の問題は、世界的な課題であります。全世界のロータリアンがこれまでに取り組み、成果をあげてきたポリオ・プラス計画の後を継ぐR.I.の重要なプログラムと受けとめていただき、支援のための積極的な行動計画をたてていただくことをお願いいたします。

また、高齢者社会を迎えた日本が、多くの外国人労働者を受け入れてきて、今後ますます増えると予測されております。それにともなって、国内における日本語の識字教育を必要とする外国人がふえること、この分野での奉仕活動プロジェクトが日本のロータリーに求められること、などを考慮していただき、今後のロータリアンの新しい行動計画の提起をしていただければ幸いです。



「手を貸そう組織活性化のために」

2003-2004年度 地区拡大委員会
委員長 今西 清悟 (奈良RC)

永年に亘って続く大変厳しい経済環境の下、地区内ロータリアンの皆様にはそれぞれ自分の企業の生き残りを賭けて、日々努力を重ねておられることと存じます。安定経営があってこそ奉仕活動に取り組めるんだ…という本音が彼方此方から聴こえてまいります。

取引先が倒産して連鎖的に会社が破綻したとか、デフレスパイラルの渦に呑込まれ、単価が下がり、売上も利益も減少し遂に財務バランスが崩れ、クラブを退会せざるを得なくなった等という状況を目の当たりにするようになりました。更にガバナー月信で入会者より退会者が多い報告があったりすると沈滞感が増幅されます。

しかし、私はこの状況から目を逸らして何の役にも立たない拡大の建前ばかりを御願ひ致しません。今こそロータリアン同士が知恵や情報を提供しあって励まし合って大不況に立ち向かわねばならないと思っています。さもなければ会員の減少傾向が続き私達の志の母体である組織がずるずると縮小し、活力を失い奉仕の規模も実績も低下する恐れさえあります。地区や各クラブで増強や拡大委員に指名された者だけが頑張るだけでなく、ロータリアンの一人一人が新しい会員を勧誘し、沈滞ムードを一掃しなければなりません。お互い質の高いメンバーになろうではありませんか。質は強さであり量(人数)は力ではありません。

会員増強の最も有効な手段の一つとして新クラブの創設があります。昨年度敦賀西クラブが創立され、当地区は一時的に前年より会員数が増加したことが何よりの証左であります。R.I. 会長ジョナサンB. マジィアベ氏が4年前の当地区大会でスピーチされた中で組織の会員は4つの骨かたぢの型で構成される。

- 第1 又骨会員…いつも誰かが自分の代わりに働いてくれることを願っている会員
- 第2 顎骨会員…口先だけで自分は何もしない会員
- 第3 拳骨会員…他の会員のやろうとしていることを手当たり次第にけなし、ぶち壊す会員
- 第4 背骨会員…責任を持って仕事を果たす会員

と云う大変示唆に富んだ話をされました。こんな不況の時に、自分の事で精一杯なのに新クラブの設立なんて手間暇のかかることなど到底できないと自分の心に、行動に、自分で門を掛けないで戴きたいと思っております。当地区内にはまだまだ新しいクラブを設立しなければならない地域があります。

どうぞ地域社会の隅々まで奉仕の心が、行動が行届きますように、そして地域社会から期待と尊敬を集められますように、皆様の熱い志の手を貸して下さい。



「今年度は『増強』のチャンス」

2003-2004年度 地区会員増強・ロータリー家族・100周年記念委員会
委員長 吉本 義俊 (京都山城RC)

RI テーマ「手を貸そう」はロータリーの理念を分かりやすく示しており、まずは家族に手を貸そうと呼びかけている。これはロータリーの理解者を増やして裾野を広げようというもの。2003～04年度は5月に関西で世界大会が開かれるほかロータリー創立100年の前年でもあり、2650地区のロータリアンにとっては記念すべき年で、増強のチャンスです。このような意義ある年に「増強」という重要なテーマに取り組むことになり、責任の重さを感じます。

100年を迎えるということは物凄いこと。先輩達の活動が地域で、世界で評価されたからこそロータリーの今日の発展があるのです。ロータリーには素晴らしいものが一杯ある。色々な会合に出席し、「ロータリーの友」を読むなどして情報に接し、ロータリーを知ることです。そしてその素晴らしさに気がつき、「手を貸して」ロータリーの裾野を広げれば必ず会員増強につながります。

なぜ増強が必要か。「数か質か」、「数より質が大事」という議論があります。私はどちらも必要と考えます。どんな組織でも新しい血を入れなければ進歩・発展はありません。数が減れば衰退につながります。そして「増強」は「増加」つまり単に数を増やすことではありません。数を増やすと共に「質」的強化つ

まり活性化することです。ロータリーには今まさにそのことが求められているのです。

地区の増強の現状はこの5年間減少傾向にあります。地域的には京都の減少が目立ち、更に全国的にみますと増えている地区もあり、不況だけが減少の大きな原因といえるのか？もっと分析が必要です。増強の主役は各クラブです。クラブのために何が出来るか、クラブを支援することが地区の役割と考え、今年度は「地域別会議」を中心に活動することにしました。「地域別会議」は10クラブ程度を1グループとして京都5カ所、福井・滋賀・奈良各2カ所の計11カ所で開き、クラブのみなさんと一緒にじっくり「増強」を考えようというものです。こうして、クラブと出来るだけ情報交換をしながらコミュニケーションを深めていきたいと思っています。マジリアベRI会長は3%の増強と、退会を3%以内に抑えるという目標を示しています。各クラブの目標達成に向けて共に努力しましょう。

1. ロータリーを知ろう
2. クラブの支援につとめる
3. 若手・女性の入会をすすめて活性化をはかる
4. ロータリー情報・拡大委員会との連携をすすめる



「方針と抱負」

2003-2004年度 地区規定審議委員会
委員長 石原 義 紀 (福井北RC)

規定審議会はRIの立法機関で、RIの組織規定を改正する権限があります。この権限のよりどころは、RI定款の第10条、RI細則7条、8条にあります。規定審議会は3年に一度招集され、地区内クラブは審議会の投票権を有する代表議員を1名選び審議会の会議に出席していただくこととなります。今回の代表議員は宮崎茂和パストガバナーです。立法案を提出できるのは、クラブ、地区大会などです。RI定款、細則又は標準ロータリークラブ定款を改正する意図をもつ立法案が制定案であり、決議案は、RIの組織規定を改正したり、抵触したりすることなく、意見を表明したり、方針や手続きを推奨したりする案件です。

さて、今年度は、2004年6月14日～18日米国シカゴで開催されるRI規定審議会に提出されている国際ロータリー第2650地区の立法案件について、出席される地区代表議員宮崎茂和パストガバナーのご指導を受けながら提出案件の検討および確認をします。また、当地区から提出の立法案件受付状況についても検討したい。

2003年12月31日までに世界各地から適正に提出されたすべての立法案の写しが地区ガバナー事務所にRI事務総長から届きますので、十分に目を通し、検討、確認する。下半期には宮崎茂和代表議員の帰国を待ってRI

規定審議会の報告を受け、できうれば新たになったRI規定審議会で決定された立法案(制定案および決議案)を整理、統合し、各クラブおよび関係先へ配布の準備を進めたい。各クラブへの伝達に当っては、ロータリー情報委員会と連携して、新しい立法案の解釈運用の適正を図りたいと考えています。



「方針と抱負」

2003-2004年度 地区広報・雑誌委員会
委員長 村田 侑三 (京都東RC)

ポール・ハリスは「理解の促進には、ロータリアンであるなしを問わず、多数の人々と接触することが重要です。しかし一人のロータリアンが多数の人々と個々に接触することは不可能です。」と述べている。

しかし、いま、科学の進歩により伝達手段・伝達媒体が多様化し、一人の人の意思を、国境や地域を問わず瞬時に伝達可能となった。そればかりか、伝えられた情報に対して即座に応答することも、ITの利用によって可能となっている。

この客観的事態をポール・ハリスが予測していたかどうかは解らないが、現実の伝達手段、すなわち一人の人が発信したことを、国境という障壁を乗り越え、国籍や人種を問わず瞬時に受信し、それに対応する応答が出来るのが現実となっている。

したがって、効果的な広報手段の概念も急速に変革し、それに伴い広報内容も変わらざるをえなくなっている。

従来の文書連絡では、概してロータリアンからロータリアン、またはロータリアンから特定の相手先に伝達されていたものが、一般の人も受信可能になってきている。これは半閉鎖的であったロータリークラブのあらゆる情報が、一般の方々も、望むならばいつでも知ることができるということである。

こうした客観的社会現象に対してロータリアンとしても、限られた社会ではなくなってきていることを認識すること、即ちロータリークラブが一般社会から遊離した存在ではなくなってきていることを前提とし、広報のあり方を考えて対処していかねばならない。逆に考えれば、ロータリークラブが一般社会の一員であるという認識を常に抱きながら、ロータリアンは行動し奉仕活動を行うべきではなからうか。

ITについては、殆どの会員が利用されていると推察しているが、平均して高年齢者の比率が高いので、その利用は充分とは言い難い。そんな過渡期ともいえる現在では、広報手段もしくはは二元的に行わざるをえないだろう。

しかし近い将来の伝達方法は、自らが望むときに必要な情報が瞬時に得られ、それによって時間短縮、つまりスピードアップ出来るようになる。そして直ちに判断して行動に移すことが、ロータリー活動の多角化・多面化へとつながっていく。そうなれば、一般の方々もロータリー情報と接触する機会が増えるので、ロータリー活動に対する理解と協力も、より深いものになるのではなからうか。



「ロータリーを楽しむために」

2003-2004年度 地区ロータリー情報委員会
委員長 瀧上 勝夫 (勝山RC)

ロータリーを楽しむためには、ロータリーをよく知ることです。手続要覧を初めロータリーの歴史、機構、ロータリーの綱領、目的、奉仕の在り方について勉強しなければなりません。ロータリーに熟知することにより、ロータリーの素晴らしさが理解され、ロータリーを楽しむことができるのです。退会される方々が、ロータリーを充分理解されない短期間に多いことを見ても、ロータリー情報が如何に必要であるかを物語っています。またロータリー歴の永い方に退会者がおられないことが、このことを如実に証明しております。係る観点から、地区ロータリー情報委員会では〔新会員へのオリエンテーション〕の冊子を作成しました。本年もこの冊子を充分に御利用戴き、会員の勉強会に新会員への情報にお役に立てていただきたいと思います。最近、ロータリーは大きく変わりつつあります。特に著しいのが、会員増強、退会防止の為と思われる規則の緩和であります。永年ロータリーを楽しんでこられたメンバーの方はもの足りなさを感じておられることと思います。規則は厳しければ良いともいえませんが、少なくとも現在の変貌については、その趣旨が何処にあるかご検討いただき、安易に受けとめてはいけないと思います。手続要覧を順守することは勿論であります。変更前の手続要覧もクラブ運営の参考に供すべきでないかと感じる者であります。桶のタガを緩めることは易いことですが、

つまり水漏れ、即ち退会者が増え、ロータリーの魅力が失われることになれば何等の意味もなしません、厳しさの中にあるロータリーの魅力も見逃すことができません。時代の変化、流れに逆らうべきでもありませんが、本質を違えず、各自明確な目標をもって活性化に貢献すべきであります。

◎本年度の事業計画については

地区内、各クラブのロータリー情報委員長連絡会議を3班に分かれて行います。その議題の主体はクラブ間の情報と意見交換です。そして会員へのオリエンテーション冊子〔いまさら人に聞けないロータリー情報〕を発刊して、全会員へのオリエンテーションに使って頂きたいと思えます。これらの内容は委員長の意見をふまえて検討していただき、これも、〔字を大きくして2色A4版カットマンガを付けて〕をモットーに挑戦してみたいと思えます。また、従来使っている〔新会員へのオリエンテーション〕冊子、知っておきたいロータリー情報も再版して、新会員のロータリー情報教育に使っていただきます。さらに、クラブの情報の認識を深めてもらうために、ロータリークイズを提案し、クラブの情報高揚に努めたいと思えます。

なお、1月のロータリー理解推進月間に因んでお役に立つことがあるなら検討したいと思えます。



2003-2004年度 インターネット委員会「方針と抱負」

2003-2004年度 地区インターネット委員会
委員長 猪田 浩史 (京都南RC)

当委員会は、地区内クラブのIT化を促進し、ガバナー事務所からの伝達事項を遅滞なく、地区内クラブに配信されるよう整備することを目的としています。したがって地区内IT化が完了した時には不要となる委員会で、究極の目的は「当委員会をなくすること」と言えます。

現在の地区内クラブIT化状況は、事務局公式メールアドレスを取得されているクラブが、94クラブ中90クラブ(96%)に達し、残り4クラブとなりました。その4クラブも個人メールアドレスを登録いただいております、本来なら100%となるのですが、1クラブのみ諸般の事情でメールを受け取れないクラブがあります。今年度は残り4クラブの事務局公式メールアドレス取得と、残り1クラブのメール受信環境構築を進め、地区内IT化100%を目指します。ひとつ委員会を設置するために予算も必要になります。経費削減のためにも、ぜひご協力いただきますようお願い申し上げます。

また福井ガバナーのご決断により、今年度のガバナー月信はインターネット配信になります。サービス低下につながらないよう、メールマガジンを使って、登録していただいた地区内会員すべてに情報を配信されますので、そのための技術的支援を行います。どうぞ大勢の会員の皆様の登録をお待ちしています。(登

録方法は当ガバナー月信に詳しく掲載されています。)

その他、RIからの情報や、各地区委員会および各クラブからの情報をガバナー事務所を含め地区内ロータリアン全員で共有できるようウェブサイト进行管理します。地区通信メーリングリスト、地区委員会アドレス管理、地区委員会および地区内クラブのウェブサイト設置支援については、引き続きガバナー事務所京都分室で行います。必要な部分を必要なだけ利用していただき、情報をご活用ください。

■ RI 第 2650 地区ウェブサイト

<http://rid2650.gr.jp/> (日本語)

■ Rotary International Web

<http://www.rotary.org/> (英語)

■ Rotary Japan Web(RJW)

<http://www.rotary.or.jp/> (日本語)

■ 2004年国際大会(関西)URL

<http://www.2004kansai.jp/> (日本語)



「地区職業奉仕委員会の基本方針について」

2003-2004年度 地区職業奉仕委員会
委員長 松岡 秀 晋 (大和郡山RC)

今年度、地区職業奉仕委員会の委員長を務めさせていただきます大和郡山RCの松岡でございます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

先ず最初に、職業奉仕についての私の考えを述べさせていただきます。

職業奉仕(Vocational Service)とは、自己の職業を通じて、その道徳的な倫理感を高め社会に奉仕する事であり、全てのロータリーの奉仕活動の基礎となるものであります。

そもそも、ロータリーの原点は、職業奉仕を含めた“ I Serve ”の精神であり、また、その根底にある「超我の奉仕(Service above self)」の精神であり、「奉仕の理想(The ideal of service)」の精神であります。

人間は誰でも、人は皆一人で生きてゆくことはできません。支え合って共に生きる存在でありますから、ほかの人の為に尽くすことが本来の人間としての社会的責務であります。この本来の人間としての社会的責務を自覚する事が所謂“ I Serve ”の精神であります。だからこそ、各人の職業の倫理感を高める事が最も重要になるのであります。そして、このような社会的責務を自覚し実践する事が“サービス”(奉仕)であります。

地区職業奉仕委員会と致しましては、職業奉仕の行く着く先は職業倫理である、職業奉仕とは詰まるところ職業倫理なんだという事を、

特に強く訴えて参りたいと考えております。昨今のいわゆる企業の様々な不祥事というのは、全てこの職業に対する倫理感の欠如によるものであると思われま。

今一度原点に立ち戻って、「奉仕の理想」とは何であろうかと考えてみますと、それは「他人の事を思いやり、他人の為に役立とうとする事」(「ロータリアン必携」より引用)であり、即ち“思いやりの心”であります。

このような「奉仕の理想」を実践する事により、つまり、温かい思いやりの心を通して世のため人のために尽くしていく事によって、人々に生きる喜びを与え、世の中を明るくし、延いては人類の幸福と世界の平和に貢献していこうというのが、ロータリーの掲げる奉仕の哲学であると思えます。

この先何が起きるか分からない、大変先の見えにくい不透明な時代ですが、このような混迷の時代の今こそ、社会はロータリーの精神を必要とし、職業奉仕の理念と実践が求められているのではないのでしょうか。

今私達に最も求められているのは、このような職業奉仕の理念の涵養と実践であり、かつクラブ内外への啓蒙(普及)であると思えます。地区委員会は、そのために微力を捧げたいと考えております。皆様のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。



「方針と抱負」

2003-2004年度 地区社会奉仕委員会
委員長 松井 淳次 (奈良東RC)

21世紀は、環境、人間性、創造の時代とされています。また、心の時代とされています。経済成長にともなって失っていった自然と環境を取り戻し、住民が、ほんとうに心のゆとり、心のあたたかさを感じて生活をしてゆける様な、よりよい町づくり、そして実のある社会づくりが必要であると考えます。このことを目指して、我々は、そしてロータリアンは社会奉仕活動を考え、何をなすべきかを問うのではなく、いかに実践してゆくかを考え、実行してゆくことが責務であろうと考えます。

心の時代と書きましたが、ほんとうに今、そんな社会になっているのでしょうか。全くちがうと思うのです。いつ頃からか、日本社会の秩序や治安が大きく乱れ、心と身体の安全が強くおびやかされているのが実態です。

若い人は何を考えているのかわからなく、慌いし、大人は子供を殺し、また無差別殺人等が相次いで起る。これからの子供たちに、そして大人にも、豊かな、そして確かな人間性をとり戻し育くまれるためには、大人社会全体のモラルの低下という物を大いに問い直し、問いただす必要があるでしょう。中央教育審議会の答申の中で、これからの子供達の成長に大きな負の影響を与えている風潮を次のように指摘しています。

- ①社会全体や他人の事を考えず専ら個人の利害得失を優先すること。
- ②他人他者への責任転嫁など責任感が欠如していること。
- ③モノ、カネ等の物質的な価値や快楽を、優先すること。
- ④夢や目標の実現に向けた努力、特に社会をよりよくしようとする真摯な努力を軽視すること。
- ⑤ゆとりの大切さを忘れ専ら利便性や効率性を重視すること。

やはり大人社会全体のモラルの問題を真剣に考え直してゆく事が最も大切でありましょう。秩序、治安をよくする努力、そして、心の安全、ゆとり、あたたかさが感じられるような住みよい社会づくりを目指した、社会奉仕活動にもう一度大いに挑戦して行きたいと思えます。また各クラブにおきましても本年も、すばらしい社会奉仕活動を目指されることを、心から期待してやみません。



「方針と抱負」

2003-2004年度 地区環境保全委員会
委員長 羽根 史朗 (檀原RC)

地球環境は、日増しに悪くなって来ています。新聞、テレビ等、地球環境に対する話題には事欠きません。

ロータリーの奉仕と言いますと、「人間愛」、「人類愛」、人類に対する奉仕であります。その人類が過去、産業革命をおこし、いろんな文明機器、化学物質を発明し、人類の繁栄をもたらしました。その結果、人類が地球の唯一の繁栄生物となりました。人類の繁栄が地球環境をどんどん破壊しています。他の動植物は片隅に追いやられ、絶滅して行っています。

環境保全と申しますと、「人間が住むのに良い環境を造る」というのが目的ですが、良い環境を破壊して来たのも人類であります。我々ロータリアンの奉仕は、「人類への奉仕を含めた もっと大きい 天体地球への奉仕」と考えていかねばなりません！そういう点から言いますと、人類に対し、環境破壊を諫め、忠告し警鐘していかねばなりません。

又人類自身が自戒するよう促すのも、環境保全の役目と考えます。

我々の環境保全委員会は、各クラブの地域の「ニーズ」に奉仕する事です。各地域の「ニーズ」に耳を傾け、もっとも重要な「ニーズ」に答えなければなりません。

各地域の環境を守る、地球環境を守ると考えますと、一見関係は少ない様に見えます。

しかし、空気・水等は、世界を巡り、そして我々の地域へと帰って来ます。各クラブの地域に奉仕する事は、「各地域」どうしがつながり「ブロック」となり「ブロック」のつながりが「地区」となり、「世界」への奉仕とつながります。

我々ロータリアンは、病んだ地球を守ると考え、各地域での環境保全活動に邁進しようではありませんか！



「国際的なロータリアンへのご案内」

2003-2004年度 地区国際交流・On To 大阪委員会
委員長 山本和秀(京都山城RC)

当委員会は皆様に大いに楽しく遊んで頂くお手伝いをする委員会です。ただ、その根底には奉仕活動という理念があります。私達はそのお手伝いの方法として2点用意いたしました。第1点は友情交換プログラム 第2点は世界大会への参加であります。

先ず、RIの規定に基づく一般的な「友情交換プログラム」から説明いたします。

このプログラムの「内容」は、ロータリアンとその配偶者が相互に訪問しあい、相手国・相手地区のロータリアンの家庭に数日間ホームステイすることです。その「目的」は国境を越えた個人対個人の交流を通じて、自分自身の視野を広げるとともに、国際理解、国際親善、及び世界平和を推進するところにあります。ですから、仕事での出張、或いは、単なる個人旅行のための無料宿泊先を見つける手段ではないのです。このプログラムには4組から5組のロータリアンご夫妻が1ヶ月を超えない範囲でホスト地区を数ヶ所訪問します。ただ、参加ご夫妻の組数と滞在期間については両地区の合意により変更できます。「参加資格」はロータリアンとその配偶者に限られます。しかし、制度、趣旨から考えましてロータリアンとその家族であれば問題はありません。事実、ロータリアンとそのお孫さんのカップルでこのプログラムに参加して下さったケースも我が地区ではありました。

次に次年度の友情交換を説明させていただきます。

- ・相手地区…第1240地区（ロンドンの北東部に在りますエセックス州）
- ・こちらの訪英時期…2004年3月予定
- ・先方の来日時期…2004年5月予定
- ・募集します人数…ロータリアンとその配偶者5カップルです。
- ・ホームステイ期間…1週間
- ・交換ですので1240地区からも同じ条件でこちらに来られます。参加の応募をさせていただくに付きましては相手チームの1カップルを1週間ホームステイさせて下さる事が条件となります。
- ・最後に募集につきましては、『ガバナー月信』、「ガバナー事務所のホームページ」を利用させていただく予定をしております。

次に、世界大会への参加について説明させていただきます。世界大会参加にあたり日本のロータリアンに一つの特徴があります。それは海外のロータリアンは大会日程の全期間とまでは言いませんが、ほとんどの全期間を世界大会の行事に参加されているようです。ところが、日本のロータリアンの多くは開会式か閉会式に参加して後は観光をされるように聞いております。私はこれでは世界大会を楽しんだことにはならないと思うのです。当然、外国のロータリアンと触れ合いも無く、友情も生まれてこないわけです。

ところで、皆様は世界大会の会場に「友愛の家」が有ることをご存知でしょうか？これは毎年度設置されるセクションです。「友愛の家」にはRI管轄の「同好会」のブースがあります。ロータリークラブには地区は勿論のこと国境を越えたメンバーで構成されている「同好会」があります。たとえば「飛行同好会」という「同好会」があります。古い資料ですが会員数約1700人、参加国数52カ国。この大規模な親睦グループはロータリアンのパイロットが飛行機を操縦して予め決められた場所へ飛び、そこで親睦、娯楽、ツアー、食事を楽しむ「フライ・イン」と呼ばれる行事を開催します。そして、この同好会の奉仕活動としては、飛行機で患者を病院に送り届けたり、災害の被害を受けた地域へ緊急援助物資を空輸したりしています。

同好会にはクラシック・カー同好会、バードワッチング同好会、魚釣り同好会、グルメ同好会、ピン収集同好会、スキー同好会、ワイン賞味同好会、旅行と歓待同好会等約70程あります。毎年国際大会に参加されておられるロータリアンでもまだまだ見逃しておられるブースやイベントがあるかも知れません。

次年度の世界大会は関西で開かれます。私たちにとっては、今更関西の観光は要らないのではないのでしょうか。特に、今まで一度も国際大会に参加したことが無いロータリアンにとっては世界大会の楽しさを味わう絶好の機会だと思えます。

是非、じっくりと次年度の大阪国際大会を味わってください。



「青少年交換プログラム」

2003-2004年度 地区国際青少年交換委員会
委員長 松山 隆 (奈良RC)

2003 - 2004 年度国際ロータリー第 2650 地区国際青少年交換委員会、委員長を務めさせて頂く松山 隆です。日頃は、青少年交換プログラムに多大のご理解とご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

我が地区における青少年交換プログラムも 33 年の歴史を数え、派遣・受入の総学生数も昨年度で 1000 名を越えました。全国の地区の中で最も数多い実績と経験を持っております。しかし、昨今の青少年交換プログラムの現状は、決して前途有望の様を呈しているものではありません。一昨年のアメリカ・テロ事件から最近のイラク戦争までを例に取るように、各国で不穏な動きがあり、学生の渡航を不安がる両親、また、アジア圏から端を発する SARS 問題、しいては長引く経済不況が原因し、その数は以前より減少しているのが現状です。

しかし、インターネットの普及やリアルタイムの TV ニュースにより世界がますます狭くなり、活動の分野も、交通手段の発達やその連携によりどんどん多機能化し広まって来ています。この益々の進歩により展望は地球規模にふくれつつあります。次代を担って行く若者にとって世界を知ること無しではもはや存在感が無くなっていく世の中が来つつあります。同時に、世界の人たちとのコミュニケーションが頻繁に図れれば無用な戦争も避けら

れるでしょう。交換学生は、この様なグローバル化の最先端を担ってくれる可能性を秘めています。今後、青少年交換プログラムの役割は、益々大きくなって行くことでしょう。

また、今年度からは、ROTEX(帰国学生)の全国的な組織が発足し、地区を越えてのまとまりが出来てきました。彼らが果たす役割も名分化されて来ており、大阪の国際大会には全国の ROTEX100 名が集い、成果を見せてくれるものと期待しています。世界を見てきて、色々な国の人たちとコミュニケーションを図ってきた彼らは、今後の自分達の役割と期待を十分認識しているようです。

毎年、世界で 8000 人の交換学生が色々な地域、国で色々な経験を積んで来ています。日本からの学生もそのうち 300 名おります。地区内のロータリアンの皆様においても、彼らの活動の一端を支援しているんだという意識と自負心を持って頂けるようお願い致します。これからの青少年交換プログラムの活動が、地区内のロータリアンのご理解とご協力で益々発展することを期待申し上げます。



「カンボジアの隣りの国ラオスを支援」

2003-2004年度 地区世界社会奉仕委員会
委員長 前田 正一郎 (奈良RC)

前年に引き続き世界社会奉仕委員長をさせていただくことになったのですが、前年度はカンボジア支援として、地雷埋設地域での安全免疫活動(ポリオ生ワクチンの経口投与とBCG、はしか、DTP混合ワクチン注射、ビタミンA、寄生虫の駆虫錠の投与)をするために、その地域で3名のメディカルオフィサーの2年間の給料とオペレーションコスト、そしてワクチン代を前年の資金で負担しましたので、本年はその2年目に当たりフォローをする必要があります。又昨年度地雷BOXで寄付をいただいたお金の内、250万円を繰越しております。それは本年度にカンボジアの地雷除去関連で事業を行う予定です。幸いに私達のロータリー活動のことを良く理解して下ださっている方が、在カンボジア日本国大使館に赴任されましたので、大きなことは出来ませんが、小さなことで出来ることをよく調べて教えてほしいとお願いをしています。地雷除去は深い訓練と悪い還憶のため忍耐が必要なため、長い年月と継続的な支援が必要であります。情報を多く集めて委員会で検討をしたいと思えます。

今年度の事業としては、特別会計の予算の範囲内でとなりの国ラオスで、予防接種活動を中心に支援いたします。ラオスは地形的条件、政治的条件、経済的条件が重なり、ポリオの

免疫率をみても50%前後と医療の大変遅れた地域であります。全地球的規模で根絶されるまで全世界が80%の免疫率を維持する必要があります。そういう意味ではハイリスク地域であります。又6年前我々はラオスでポリオワクチン投与のNIDsをお手伝いしたのですが、その時同時に小学校校舎を寄贈いたしました。その関係の方々が元になって教育振興財団が出来ています。そこも協力して、ラオスで新しい様式の母子手帳をRID2650寄贈として配布いたします。下見調査や打合せのために9月には現地へ行く予定であります。現在皆様も御承知のごとく、新型肺炎SARSが終息しない限り、何にも出来ないことは御承知おき下さい。



「方針と抱負」

2003-2004年度 地区新世代委員会
委員長 森 定 秀 夫 (京都西北RC)

若者が道徳、倫理観をしっかり持って、自分も大事にして相手も大事にして、自他共に認識し合い、より良い社会を築く為に貢献出来る人材を作ること、つまりこの地区の社会奉仕を通じて人材育成する事が、この新世代委員会の目的です。

しかしながら、新世代を担う青少年の育成は、私どもに課せられた重要な課題であります。ロータリアンの会合でも「自分の子供を育てるだけでも大変なのに、他の人の子供までも手が出ない」といった正直な声が出るくらいで決して容易な事ではありません。

最近子供が危ないという事が、よく言われます。青少年の不祥事件、不登校、学級崩壊、薬物濫用、幼児虐待などが大きな社会問題となっています。青少年問題の原点が「家庭教育」の不足であり、「家庭教育」は「心の教育」として注目すべきであります。又、家庭教育は親の行動が基となるのです。

これは戦後半世紀に渡って、誤った教育を正常に取り戻すために教育改革が始まり、物から心への教育、考える力、生きる力を作り出す教育に進んできている。今、家庭の問題や地域社会がいかに拘わっていくべきかなどの問題提起となってきました。

最近、「開かれた学校作り」のもとに学校の経営、教育に民間の力を取り入れようとする文部省の働きかけが強まり、ロータリーが奉

仕すべき事が多様化してきています。

全国ガバナー会の中で青少年育成委員会が発足いたしました。その具体的活動は、

- ① 学校評議員制度を研究して、ロータリアンが評議員として活動する。
- ② 学校の講師としてのロータリアンの人材登録名簿作成する。
- ③ 教師、生徒を職場体験させることの出来る事業所を作成する

この三つの方針を当地区も、その地域の教育委員会や学校と協力して、本年度2月頃を目処にして、計画を進めたいと思っております。又、例年同様、

- ① 「新世代の為の会議」の開催を全クラブで実施を目指す。
- ② 「9月の新世代の月間」の意義を説明する予定。
- ③ 第24回の地区合同ライラが来年3月26日、27日、28日に開催する予定。
- ④ ライラ友の会(ライラの卒業生対象)(ライラFC)の開催予定。

ライラ友の会のメンバー10名を来年度のライラ受講生2期生として、ライラに参加して、ライラのリーダーシップ育成を目指し、より高度な人材育成とより深いロータリアンとの関わりを作る。

以上が次年度の新世代委員会の抱負と活動方針です。



「ローターアクトの育成こそ新世代の育成」

2003-2004年度 地区ローターアクト委員会
委員長 木村吉男(草津RC)

ロータリアンの皆さん、ローターアクトの活動についてご存じですか？「Fellowship Through Service」“奉仕を通じての親睦”をモットーに18才から30才までの青年男女が個々の能力の開発にあたって役立つ知識や技能を高め、それぞれの地域社会における、物質的あるいは社会的ニーズと取り組み、奉仕活動と親睦を通じて国内はもとより、全世界の人々のあいだに、よりよい信頼関係を提供する事が目的です。ローターアクトは自クラブの活動では、自然破壊、ゴミ問題等環境問題、介助犬、盲導犬普及のチャリティー開催等福祉問題、世界の国状を理解する為文化、経済の研究等国際問題、個々の知識を広げる為の専門知識研究等、幅広い例会活動、そして地区活動においては、会長をはじめ役員・会員に対する指導者講習会の開催、国内他地区との情報交換交流会、海外アクトとの交流を目的とする海外研修、RI指導による「アクトの日」等地区内統一開催事業、またWCSへの参加、ライラへの協力参加、ロータリー地区大会における友愛の広場の企画・実行、特に今年度はRI国際大会への協力参加等、数多くの事業にその若さと行動力を遺憾なく発揮しております。昨今RIより提唱されました、新世代の育成こそ、正にローターアクトの育成でほかならないと私は信じております。私はロータリー

活動の中ですでに8年間ローターアクトと共に過ごしてまいりました。思えばロータリアンが変動の激しい流れと共に自身が忘れ去ってしまった、情熱そして行動をローターアクトは“不連続の連続”という形でめんめんと伝え受けております。是非ローターアクトの例会、あるいは事業にもっともっと参加してみてください。その時私達ロータリアンは感動を憶えるはずで、この不況の時代だからと全てを片づけないでください。彼等ローターアクトには、そんな不況なんて言葉はありません。日々仕事に追われつつも、目一杯の活動をし輝きを失わず、一人一人がさらなるレベルアップとクラブの活性、地域での数々の活動にと取り組んでいます。「Lend a Hand」ローターアクトに手を貸してやってください。是非彼等と行動を共にしてやってください。ロータリアンの良きパートナーとして接してやってください。今こそ新世代を支える若者の育成に力を注いでやってください。我々地区ローターアクト委員会はそんな彼等の熱い思いを間近に感じながら、ローターアクトと共に行動しております。尚一層のご理解とご協力を賜わらん事をお願い申し上げます。



「今あなたは何か出来ますか」

2003-2004年度 地区インターアクト委員会
委員長 加藤 陽一 (京都西RC)

本年度も 2560 地区インターアクト委員長をさせていただきます京都西ロータリークラブの加藤陽一と申します。昨年同様委員長でお世話をさせていただくわけですがよろしくお願い致します。本年度のテーマとして「さあ、勇気を持って行動しよう」を掲げています。そして、あなたが誇れるクラブ作りを基本に忠実に1歩1歩確実にして頂きたく思っております。では、何が基本としますかと言いますとクラブ員の数が15名以上いて、毎月例会をロータリアンの出席の元されていることが、まずクリアしてもらわなくてはいけないと思っています。魅力あるクラブになるには、クラブ員全員がインターアクトクラブを誇りに思い、クラブ活動を楽しまなくてはなりません。嫌々やっているのは、友愛は広がって行きません。まず、あなた自身が奉仕することを楽しみ、その喜びを一人でも多くの友人に伝えて行けば当然部員が増えるものと思います。

同じ価値を共有できる友達が出来れば、自分たちの出来る人に喜んでいただける奉仕活動や国際活動を1歩1歩して頂きたく思います。そして、みんなが「ありがとう」の言葉で言い合える社会を作って欲しいと思います。そんな高校生をインターアクトを通して育てる楽しみを1つでも多くのロータリークラブが関わって欲しいと思います。

インターアクトは当地区で94ロータリークラブの内16校しか提唱してもらっていません。未提唱のロータリークラブは是非ともあなたのクラブに活力を与えるインターアクトクラブを作ってください、若いものと一緒に奉仕の喜びを味わってもらいたく思います。

今年は、海外研修が諸般の事情で中止になり国内研修を北海道で開催します。同じ志のアクターと共に1週間合宿をしながら体験学習や他地区のアクターとの交流を考えています。

ロータリアンの皆さん、アクターに夢と希望を与え将来の指導者を育成して下さる事をせつに願っています。今私が言いたいことは「ロータリーよ、勇気を出して行動しようよ。あなたの行動が明日を作っていきます。」です。



「私にとってロータリーとは友情・奉仕です。
ロータリー財団なくしてロータリーはない。」

2003-2004年度 地区財団補助金委員会
委員長 公文俊一(京都北東RC)

2000年4月ロータリー財団管理委員会決定で、地区内又は国内のプロジェクトに対しまして補助金を授与するプログラムが承認され、国際奉仕でなくても社会奉仕に(DDF)地区財団活動資金を使う道が開かれました。

小規模とはいえ、国際性を強調して参りましたロータリー財団の大きな転換でした。そして2001年1月から2002年12月31日でCAP(地域社会援助プログラム)が終了しました。そしてロータリー財団は地区補助金という新しい種類の補助金を採択しました。CAPは上限が10,000ドルで1,000ドルずつ10クラブに分けておりましたが、地区補助金になりますとその額は3年前(山崎年度)の年次寄付と恒久基金寄付の収益の60%がDDFとして返ってまいります。その20%が上限で、本年度2650地区は125,900ドルです。

- 1) 地区補助金は次のような方法でロータリアンが直接参加することを義務付けています。
- ・地域のニーズを調べ、プロジェクトの計画を立てること。
 - ・資金の支出を監督する少なくとも3人のロータリアンから成る委員会を設置すること。
 - ・補助金の支出状況を監督すること。
 - ・プロジェクトの実施に参加すること。
 - ・地域が参加し、地域が自分のプロジェクト

とまっていることを示すこと。

- ・地元の活動家、官吏、援助受領者との会合を組織すること。
- ・地元の報道機関にプロジェクトを広報すること。

2) 地区補助金を授与されたクラブは補助金の支出後2ヶ月以内に最終報告を提出しなければなりません。プロジェクトの実施と資金の支出において財団の方針と指針を守れない場合、誤用した補助金を全額返却し、今後の補助金を最高5年間一時停止されることとなります。最終報告には次のことが記載されていなければなりません。

- すべての支出について詳細で明確に体系づけられた報告。
- 総計米貨1,000ドルで購入した物品については領収書。
- 補助金の受益者に関する詳細な情報。
- プロジェクトの実施に当たってロータリアンが参加したという詳細な説明。
- プロジェクトの実施状況の詳細。この経験が次のロータリー年度にどのように役立ち、指針となるかを記述すること。

補助金を有効に使用していただきロータリーの夢を実現していただきたいと思います。



「ロータリー財団は資金調達と奉仕活動が車の両輪です」

2003-2004年度 地区財団年次寄付・財団恒久基金委員会
委員長 勝見 秀憲 (守山RC)

『千ドルの財団寄付を是非お願いしたい』と財団委員長から頼まれたのですが『財団の何に寄付をすればよいのですか?』とよく聞かれる。その財団寄付が、ポールハリスフェローの年次寄付で、3年後に地区財団活動資金(DDF)として地区に還元される(シェア・システム)なのか、又はベネファクターの恒久基金寄付で、基金の元金は使用せず運用益だけを財団プログラムに使われるものなのかが理解出来ずに財団寄付されていることが多々見受けられる。

Q. 寄付金は何に使われているのか?

A. 国際交流で未来の平和な世界をリードする人達を育てる教育的プログラムや、全世界で悩み苦しんでいる人達を救う人道的補助金プログラムや、世界のポリオ撲滅運動を推進するポリオプラスプログラム等の奉仕活動に使われている。

Q. どんな寄付の方法があるのか?

A. 毎年百ドル以上の財団友の会や千ドルのポールハリスフェローや累計額が二千ドルのマルチプルポールハリスフェローなどの年次寄付。次ぎに千ドルのベネファクターや二万五千ドルの冠名基金などの恒久基金寄付。そしてポリオ・プラスやマッチング・グラントなどの援助事業が指定できる使途指定寄付等の寄付方法がある。

昨年までの地区財団増進委員会が『補助金』

と『年次寄付・恒久基金』の二つの委員会に分割されたように、財団は今年度より新しい制度が導入された。即ち地区のロータリー財団は補助金・年次寄付・恒久基金・奨学金・学友・G S E・ポリオプラスの7つの委員会構成となったのである。改正理由は①ガバナーの管理負担を軽減する ②運営手続きを簡素化し標準的機構を設ける ③財団の専門知識を活用し効果的・能率的な地区財団機能にする ④補助金手続きに継続性を図る等が挙げられる。要するに当委員会は『財団の寄付を集めること』が委員会分掌となったのである。

今世界中で、1日2ドル未満で生活する極貧生活者が28億人、きれいな水が得られない人達が12億人、そして10億人は読むことも・書くことも・計算することもできないと言われている。その人達を救うのはロータリアンしかありません。そのために、先ず各ロータリアンは毎年150ドルの年次寄付をすること。次ぎに各クラブは、毎年ベネファクターを3名以上輩出し恒久基金とすること。これは『あなたが世界中で善意善行を推進する』ための奉仕活動の基本である。「ロータリー財団は資金調達と奉仕活動が車の両輪である」ことを十分にご理解していただき、財団寄付に御協力を賜りますようお願い申し上げます。



「方針と抱負」

2003-2004年度 地区財団奨学金・財団学友委員会
委員長 西村 宗也 (京都RC)

財団奨学金・財団学友委員会の役割は、財団一般寄付の地区に還元されるDDFの一部を使った各種奨学金プログラムを運営するため、それらプログラムの広報、奨学生派遣のための募集、選考、オリエンテーション等を行うと共に、帰国奨学生組織の学友会の活動をサポートする事にあります。

世界的に厳しい経済状況下に於ける寄付金の減少と、DDF還元率の低下化に対応して、奨学生の選考に当っては財団奨学金の目的である、「海外留学を通じ、国際理解を深め、国際親善を促進する」を理解し、ロータリー親善使節を努め得る優れた人材を選び、出発前のオリエンテーション等において十分に指導致します。

反面海外留学には不可欠の自立の精神力を養う為、ロータリー財団コーディネーターや入学希望大学との交渉や手続きも留学の大切な一部として、出きる限り自らが調べ行動する様指導し、委員会はそれをサポートする立場をとります。昨今の留学生を見ていますと、その多くがセットされたプログラムに乗っかってゆく、従って現地で何かが起こると、対応力が極めて弱い様に思えます。海外留学というのは、その機会が増えた現在でも、それなりに厳しいものであり、それを自覚する為にも、事前準備は出来るだけ自分でやり、自ら問題

の解決を体験することが必要と考えています。

学友会の活動状況については、昨今の努力により徐々に活性化しつつありますが、まだ十分だとは云えません。帰国奨学生が学友として帰国報告会や後輩奨学生へのオリエンテーション、クラブ例会における宅話等を通じて積極的にロータリー活動に参加し、留学生活で得た成果をロータリーに還元してゆく様、学友会活動を強力にサポートして参りたいと思います。

現在の学友会の最大の問題は帰国後推薦クラブへの報告がなく、消息も知れずという奨学生が相当あり、名簿作成にも支障をきたしています。この解決の為にも、推薦クラブが最低10年程度は本人と密接な関係を保ち、足取りを把握し、学友としての責任を果たす様指導して頂きたく、その事が学友会の組織化・活性化に不可欠な事と考えており、衷心よりご協力をお願いする次第です。



「ポリオ撲滅への道」

2003-2004年度 地区ポリオ撲滅募金活動キャンペーン委員会
委員長 園田 英次 (甲西石部RC)

ポリオ撲滅募金活動キャンペーン (PEFC) 委員会は、世界のロータリアンの夢であるポリオ撲滅が2005年までに叶えられるように、ポリオ撲滅支援である資金不足の障碍を世界のロータリアンに援助協力を求めるための委員会です。

しかし、我が2650地区の多くのロータリアンはポリオ撲滅に関し、2000年10月に西太平洋地域 (WHO=WPRO) が京都会議でポリオ根絶宣言がなされることによって「ポリオは根絶しているのに」と、さまざまな情報と憶測によって誤解されているのが現実です。

今もう一度、世界でのポリオの現状とポリオ募金活動の意義を、説明させていただきご理解を賜ってポリオ募金活動にご賛同とご協力を願うものであります。

さて、ポリオの症例は1988年には350,000件ものポリオが発生していました。この不幸な現状を打破すべき各国の政府機関、世界保健機構 (WHO)、世界児童基金 (UNICEF)、米国厚生省疾病・予防センター (CDC)、ビル・ゲイツ財団、そして世界のロータリーが支援を約束し救済支援活動を実施しました。その結果、2000年にはポリオ症例が世界で2,971件まで減少いたしました。

その間、アメリカ地域 (WHO=AMRO) が、1991年にペルーでの発症例を最後に、世界に先駆け3年後の1994年にアメリカ地域でのポリオ根絶宣言を發表しました。

続いて、2000年10月に日本を含む西太平洋地域 (WHO=WPRO) でポリオ根絶宣言が国立京都国際会館でされたことは、皆さんの記憶に新しいことと思います。そして、今年の6月にヨーロッパ地域でもポリオ根絶宣言がなされました。

よって、ポリオ撲滅は地球上よりあと一歩の段階まで近づいていますが、インドを含む南東アジア、アフリカ地域、中近東アラブ地域では現在ポリオ発症が増加傾向をたどっています。その大きな起因、つまりポリオ生ワクチンが届かない起因は、供給に関する資金不足による問題であります。

2005年までのポリオ撲滅のための資金は10億ドルの資金が必要とWHOで試算されております。

そこで、上記に述べた世界各国の政府保健機関そしてUNICEF・CDC・ビル・ゲイツ財団などが資金援助を決定しました。

国際ロータリーは、資金調達の一部8千万ドルの資金援助を世界のロータリアンに力の結集を呼びかけ、募金活動に協力支援を要請いたしました。

我がRI2650地区も人道的分野の支援活動について議論いたし、会員一人当たり150ドル (18,000円)の協力要請を各クラブの会長・幹事を通してお願いいたしております。

募金の150ドルは、1年の一括支払いと3年間の分割 (50ドル/1年×3年間)の選択方法があります。但し**3年間の分割は誓約書が必要になります**事をご了解願います。

また、募金は財団寄付の用途指定寄付に取扱われポールハリスフェロー・マルチプルポールハリスフェローに認証されますことをご理解ください。

「ポリオ撲滅への道」のキーマンはロータリアン一人一人のご理解・ご協力が必要だと思います。

2002年、インドで発生しているポリオは1599例、パキスタン98例、ナイジェリア195例で世界ではまだまだ今なお、貧困に苦しみながらポリオと戦っている子供達の現実です。この様な世界に思いを馳せていただき、ロータリアンの奉仕精神で慈愛の種を恵まない国、人、子供に播いてやってください。そして、ポリオ撲滅募金活動キャンペーンにご賛同いただき、ご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。





「活動計画案」

2003-2004年度 地区米山奨学委員会
委員長 大島正光 (高島RC)

●活動計画の基本方針

米山奨学委員会は、日本全国のロータリアンの寄付を財源として、日本で学ぶ外国人留学生を支援するため、ロータリーの理想とする国際理解と相互理解に努め国際親善と交流を深めるために優秀な留学生を支援し、国際平和の創造と維持に貢献することを目的としています。

●具体的行動計画

1) 奨学事業財源に対する年額1人当りの寄付額当地区は24,000円

クラブとして協力いただく**普通寄付は年額1人当たり5,000円以上とする。**

個人として、ご協力いただく**特別寄付は年額1人当たり24,000円とする。(1人当たり2,000円/月)**各クラブに於いて、米山BOXを設置されていないクラブは、早急に用意していただく。米山BOX新設クラブについては、地区で準備し各クラブに配布致します。

特別寄付は各個人の寄付実績として記録され表彰されます。(米山ワークブック参照)

2) 奨学生(YU・YM・YD)の募集と選考。

(米山ワークブック参照)

米山奨学金を受けるためには、地区で指定する大学の推薦が必要です。

- ①7月中旬指定校の決定(地区選考委員会)
 - ②8月初旬募集及び学内選考(大学推薦)
 - ③10月1日～15日申込受付(米山奨学会)
 - ④10月中旬米山奨学会と地区選考委員会で資格審査
 - ⑤翌年1月中旬～2月上旬ロータリー地区で選考試験実施
 - ⑥3月上旬可否通知(米山奨学会から指定校経由で合格・不合格を通知)
 - ⑦5月中旬新規奨学生オリエンテーションを実施。確約書に署名し正式に奨学生となる。
- 3) 世話クラブ及びカウンセラー制度
奨学生一人ひとりに対して、各地域のロー

タリークラブが世話クラブとなり、ロータリアンのカウンセラーがつきます。

5月中旬、次年度新規カウンセラーのオリエンテーションを実施します。

◆世話クラブの役割

- ①奨学生を毎月1回例会へ招待し、月々の奨学金を支給する。
- ②宅話の機会を作り他クラブへの交流を図る。
- ③指導教官・大学関係者との交流を図る。
- ④カウンセラーは、クラブの役割を認識した上で、奨学生の個人的ケアおよびアドバイスを行う。
- ⑤米山レポートなど指定書類の提出を確認し、学生との交流を保つ。
- ◎7月中旬 大学との交流会実施
優秀な留学生推薦について、又米山奨学会の方針及び情報交換を行う。
- ◎学友会活動について

「米山学友会」は、奨学期間を終了した米山奨学生(学友)と奨学生によって組織されている米山フェローの会です。現在日本には19団体の学友会(25ロータリー地区)、海外に韓国と台湾の2団体、計21団体が組織されています。2650地区は、会長に中文楚雄氏(立命館大学文学部教授)外、役員数名で毎年役員会2回、総会を6月中旬に実施し、毎年秋に旅行会等実施し、学友会誌発行を行い、学友会との交流を図り、ロータリー地区との交流強化はもちろん、人間関係の構築を行っています。

米山奨学事業は、学業の優秀性以外に、コミュニケーション能力、異文化理解、地域ボランティア活動に意欲のある留学生を支援します。設立から現在までに96ヶ国から11,542名の留学生に奨学金を支給しています。詳しくは、クラブに配布されている「米山ハンドブック」「ワークブック」をご覧ください。



RI 2004年 国際大会(関西)

2004年5月23日(日)ー26日(水)

- ◎ 開・閉会式・本会議／大阪ドーム
- ◎ 大会諸会合／大阪国際会議場・リーガロイヤルホテル
- ◎ 5月22日(土) 前夜祭(京都デー)／京都市内・他

R I 2004年国際大会が大阪にて開催されることになり、まさに26年ぶりの日本への招致となりました。わが国では1961年と1978年の2回、東京において開催されましたが、関西では今回が初めてとなります。

日本のロータリーは創立以来83年の歴史をもち、クラブ数や会員数、国際的な貢献度を考えても、日本のロータリアンの活動実績を世界のロータリアンにアピールし、ロータリー第2世紀に向けての方向性を日本から発信していくことが望まれています。国の内外から4万人ものロータリアンが結集する国際大会の意義はきわめて大きく、関西全域における経済的波及効果も大いに期待されます。

関西4地区(2640・2650・2660・2680)ロータリアンの力を結集して、2004年国際大会を成功させましょう。

R I 2004年国際大会事務総長補佐
小林 哲夫(京都南RC)



RI第2650地区 2003～2004年度 地区大会を楽しくしよう

今回の地区大会は従来の単一ホストではなくて、様々な工夫と趣向が凝らしてあります。その「狙い」は、①素朴な手作り②みんなで汗をかく③楽しさと感動を分かち合うことにあります。

1. 会場 けいはんなプラザ、同志社大学京田辺キャンパス
2. 共同ホスト 宇治・京都城陽・京都八幡・宇治鳳凰・京都田辺・京都山城
3. 地区内94RCが、大会出席委員・大会SAAとして、皆でロータリーの親睦を深める雰囲気づくりをしよう。
4. 11月16日(日)本会議は登録制ではなく、大会運営協力金納付で全員登録とし、従来方式の登録収入減を、諸経費節約。
5. 本会議は全員バス参加、車中で親睦。
6. ポリオ撲滅チャリティー・カタログ・オークションには、多数の提供品・落札にご協力ください。各クラブのポリオ寄付になります。
7. その他、ポリオ募金ゴルフもよろしく。

地区大会総務部会長
駒 重 則(京都山城RC)

G.S.E.派遣団員募集

ロータリー財団教育プログラム
研究グループ交換(Group Study Exchange:G.S.E.)
2003~2004年度

<第21回>



国際ロータリー第2650地区
2003~2004年度 GSE委員会
委員長 木村 憲一

G.S.Eは1965年に発足したロータリー財団の国際交流プログラムです。研究グループ交換(G.S.E)プログラムは、25才から40才までのキャリア初期の段階にいる、事業や専門職務に携わる若い人々のためのユニークな文化的および職業的交換の機会です。このプログラムは、若い成人たちが地域社会やますます国際的になっていく職場のニーズによりよく対処できるようになるために、専門職務の指導力の技能を開発するためにデザインされています。

今年度は日本からも多くの観光客が訪れるオーストラリアの大都市シドニーの郊外に位置する第9680地区と交換を行います。

派遣期間は2月から3月にかけてとなり、南半球のシドニーでは最も過ごしやすい時期といえるでしょう。

この魅力的な9680地区においてホームステイを体験しながら、職業研修・ロータリークラブの例会及び地区大会を楽しんで頂きます。

地区内会員の皆様、貴社の優秀な若手社員をぜひご紹介ください。



1 派遣の概要

- 派遣地区** R.I.第9680地区(ニューサウスウェールズ州シドニー郊外 オーストラリア)
チーム編成 団長1名(ロータリアン) 団員4名(男女問わず)
参加費 無料。(往復航空運賃はロータリー財団より支給)
 但し、事前研修に伴う費用・パスポート・旅行保険などは自己負担。
派遣期間 2004年2月18日~3月24日(約5週間)の予定
派遣目的 青年職業人の国際交流と自己啓発並びに国際理解増進。
研修内容 派遣地区の社会文化産業等の視察研修。
 ホームステイによる市民生活の体験的研修。

2 候補者の推薦要綱

一般公募を行わず地区内ロータリークラブの推薦による。

受付期間 2003年9月12日(金)まで

受付場所 R.I.第2650地区 2003~2004年度ガバナー事務所
 〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台1-7 けいはんなプラザボ棟9-4
 TEL:(0774)95-2650 FAX:(0774)95-0025

提出書類 候補者の履歴書(市販のもの)と顔写真1枚

3 候補者の資格要件

1. 日本国籍をもち地区内に住所または勤務先を有すること。
2. 団体行動による長期の海外旅行に十分に耐えられる健康の持ち主。
3. 25才以上40才以下で2年以上現在の職業に就いていること。
4. 職場の推薦を得られること。
5. 家族の承諾を得られること。
6. ロータリアンの二親等以内の親族でないこと。
7. 出発前研修(土・日・祝日を利用、8~10日間)に実費参加出来ること。

4 選考試験

2003年9月21日(日)午前10時より 於:ザ・パレスサイドホテル TEL:(075)415-8887

英会話、筆記試験(英作文・英文和訳)、面接。

団員4名と補欠1名を決定する。

合格者は結団式を当日試験終了後(午後4時以降)行う予定。(詳細は応募者と推薦クラブへおって通知する)



国際ロータリー第2650地区
2003～2004年度

年間行事予定表

2003年	7月	「識字率向上月間」(Literacy Month)	
	7月12日(土)	地区ロータリー財団セミナー 於: 京都宝ヶ池プリンスホテル	
	8月	「会員増強及び拡大月間」(Membership Development & Extension Month)	
	8月23日(土)	インターシティミーティング (Intercity Meeting)	第3組 京都モーニングR.C.
	9月13日(土)		第2組 舞鶴R.C.
	9月27日(土)		第1組 八日市南R.C.
	10月4日(土)		第4組 勝山R.C.
	10月11日(土)		第5組 平城京R.C.
	9月	「新世代のための月間」(New Generations Month)	
	10月	「米山月間」(Yoneyama Month) 「職業奉仕月間」(Vocational Service Month)	
	11月	「ロータリー財団月間」(The Rotary Foundation Month)	
	11月14日(金)	2003～2004年度 地区大会 (District Convention)	
11月16日(日)	於: けいなんプラザ・同志社大学京田辺キャンパス 共同ホスト: 宇治RC、京都城陽RC、京都八幡RC、京都山城RC、宇治鳳凰RC、京都田辺RC		
12月中旬	次年度会長・幹事の決定報告 (公式名簿記載資料提出)	● R.I.事務局	
1月上旬		●(写)ガバナー事務所 ●(写)ガバナーエレクト事務所	
2004年	1月	「ロータリー理解推進月間」(Rotary Awareness Month)	
	2月	「世界理解月間」(World Understanding Month)	
	2月15日(日)	国際協議会 (International Assembly) 於: アナハイム	
	2月22日(日)		
	2月7日(土)	第2回合同地区委員会 (District Committee)	
	2月23日(月)	ロータリー創立記念日 (Anniversary of Rotary) 世界理解と平和の日	
	3月	国際大会出席代表信任状 (Credential of Convention)	●ガバナー事務所
	3月6日(土)	2004～2005年度 会長エレクト研修セミナー (Presidents-elect Training Seminars)	
	3月26日(金)	2003～2004年度 合同地区R.Y.L.A.	
	3月28日(日)		
	4月	「ロータリー雑誌月間」(Magazine Month)	
	4月24日(土)	2004～2005年度 地区協議会 (District Assembly) 2004～2005年度 第1回合同地区委員会 (District Committee)	
	5月22日(土)	国際大会 (International Convention) 京都デー 於: 京都市内	
	5月23日(日)	国際大会 (International Convention) 於: 大阪	
	5月26日(水)		
6月	「ロータリー親睦活動月間」(Rotary Fellowships Month)		
適時	クラブ討論会 (Forum on club Level) 4大奉仕部門に少なくとも年4回開催 クラブ協議会 (Club Assembly) 年6回以上開催		
毎月	出席率報告 翌月15日午前中必着のこと	●ガバナー事務所	
その都度	新入会者・退会者 その他変更事項	●R.I.事務局 (英文) ●ガバナー事務所 (和文・英文)	

(●は報告書などの提出先)

国際ロータリー事務局 (Rotary International)

One Rotary Center, 1560 Sherman Ave. Evanston, Illinois 60201, U.S.A.

国際ロータリー日本事務局

〒115-0045 東京都北区赤羽2-51-3 NS3ビル 1階 TEL:03-3903-3161(奉仕室) FAX:03-3903-3781



国際ロータリー第2650地区
2003～2004年度

公式訪問・I.M.予定表

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1	火	金 大野	月	水 桜井	土	月
2	水	土	火 武生	木 舞鶴東	日	火 京都洛南
3	木 奈良	日	水 五條	金 大津中央	月	水
4	金 京都洛西	月 京都平安	木 京都洛東	土 IM第5組 (勝山)	火 彦根南	木 大津唐橋
5	土	火 舞鶴	金 三国	日	水 京都朱雀	金
6	日	水 奈良東	土	月	木 びわ湖八幡	土
7	月 京都西	木 京都桂川	日	火 福井フェニックス	金 京都乙訓	日
8	火 大津	金 福井西	月	水 園部	土	月
9	水 京都	土	火 若狭	木 奈良西	日	火 宇治
10	木 京都南	日	水 京都西北	金 綾部	月	水
11	金 八日市	月 五個荘能登川	木 武生府中	土 IM第4組 (平城京)	火 京都西南	木 宇治鳳凰
12	土	火 大和高田	金 京都伏見	日	水	金 京都市陽
13	日	水	土 IM第2組 (舞鶴)	月	木 京都北	土
14	月 長浜	木	日	火 福井南	金	日
15	火 京都山科	金	月	水 大津東	土 地区大会	月
16	水 福井北	土	火 宮津	木 大津西	日 地区大会	火 京都八幡
17	木 福井	日	水 京都嵯峨野	金 鯖江	月	水
18	金 京都東	月 京都紫野	木 福知山	土	火 王寺	木 京都田辺
19	土	火 水口	金 守山	日	水 生駒	金
20	日	水 鯖江北	土	月	木 京都西山	土
21	月	木 平城京	日	火 福知山西南	金	日
22	火 亀岡	金 橿原	月 敦賀西	水 栗東	土	月
23	水 京都北東	土 IM第3組 (京都モーニング)	火	木 峰山	日	火
24	木 京都洛北 京都モーニング	日	水 丸岡	金 長浜東	月	水 京都山城
25	金	月	木 橿原中央	土	火 奈良大宮	木
26	土	火 勝山	金 亀岡中央	日	水 近江八幡	金
27	日	水 八日市南	土 IM第1組 (八日市南)	月 大和郡山	木	土
28	月 京都中	木 甲西石部	日	火 滋賀湖北	金	日
29	火 京都洛中	金 福井あじさい	月 福井東	水 高島	土	月
30	水 敦賀	土	火 野洲	木 草津	日	火
31	木 彦根	日	/	金 京都紫竹	/	水

公式訪問に際してのお願い

① 公式訪問の事前準備について

公式訪問時における「会長・幹事懇談会」「地区委員面談」「クラブ協議会」はいずれも限られた時間であり、この時間を出来る限り充実したものとするために事前準備を充分にしてください。

特に下記についてはご留意ください。

- 1) 公式訪問にあたって事前に提出願う資料は提出期限を厳守してください。
- 2) 「会長・幹事懇談会」「地区委員面談」「クラブ協議会」におけるガバナーとの検討事項や質疑事項は事前に整理して頂き「効果的なクラブとなるための活動計画の指標」の所定欄に必ず記入しておいてください。

② 公式訪問標準スケジュール

ガバナー、ガバナー補佐、地区幹事の3名で実施します。

(1) 会長・幹事懇談会……………11:00～12:00	(2) 地区委員との面談………12:00～12:20
(3) 例会、表彰とガバナーアドレス………12:30～13:30	(4) クラブ協議会……………13:45～15:30

A. 公式訪問日の時間配分は上記でお願い致します。

B. モーニング例会、夜間例会のクラブについては(1)(2)(3)(4)の組み合わせ及び時間は、当該クラブとガバナー事務所とで協議をして決定します。(別表)

③ 「会長・幹事懇談会」について

この懇談会は貴クラブの会長・副会長・幹事及び会長エレクトの方々と親しくお話出来る最初の機会であり、1時間の短時間ではありますが、和やかなそして有意義な会合にしたいと思っております。出席者は会長・副会長・幹事及び会長エレクトの方々にお願いします。

④ 「地区委員面談」について

諮問委員、R I・ゾーン・国際大会役員、地区委員、元会長様との面談表敬をお願いします。

⑤ 「公式訪問例会」について

ガバナーアドレスは25分間を標準と致します。

⑥ 「ガバナー表彰」について

貴クラブ理事会で決定された貴クラブ活性化に寄与されたロータリアン3名を表彰します。

⑦ 「クラブ協議会」について

クラブ協議会は、クラブの役員や各委員長、委員の方々がクラブの計画と業績を述べ、またクラブが抱えている諸問題について担当ガバナー補佐を中心としてガバナーとも協議する機会であります。

クラブをよりよくするための充実した会合にしたいと思いますので、あまり堅苦しくならず、プラス発想で端的かつ率直に話し合えるようご配慮ください。

全会員のご出席をお願い致したく存じますが、特に入会3年未満の会員には出席の要請をしてください。

クラブ協議会は下記の要領で開催してください。

- 1) 開会后、最初にガバナーが数分間スピーチをした後、会長が司会をして会議をすすめてください。
- 2) 協議は単に概況報告書に記されている事項の報告だけでなく、具体的に次のような内容の発表を期待します。

- 活動への具体的計画と実績の報告
- 成功したと思われる活動事例

- 失敗であったと思われる事例
- 非常に困惑している問題

3) 最終に講評の時間を10分程度とってください。

⑧ 付記事項

- 1) 各役員、委員長、委員の方々の席順配置図を、同行の地区幹事にお渡しください。
- 2) ガバナーと同行者のネーム・プレート、卓上プレートは持参致します。
- 3) お土産、協議会後のご接待は堅くご辞退させていただきます。

【モーニング例会、夜間例会公式訪問スケジュールについて】

<モーニング例会スケジュール>

- | | |
|------------------------------------|------------------------------|
| (1) 会長・幹事懇談会……………16:00～17:00 | (2) 地区委員との面談……………17:00～17:30 |
| (3) 例会、表彰とガバナーアドレス……………17:30～18:30 | (4) クラブ協議会……………18:30～20:00 |

対象RC：京都モーニングRC

<夜間例会スケジュール①>

- | | |
|------------------------------|------------------------------------|
| (1) 会長・幹事懇談会……………14:15～15:15 | (2) 地区委員との面談……………15:15～15:45 |
| (3) クラブ協議会……………15:45～17:30 | (4) 例会、表彰とガバナーアドレス……………17:30～18:30 |

対象RC：奈良大宮RC

<夜間例会スケジュール②>

- | | |
|------------------------------|------------------------------------|
| (1) 会長・幹事懇談会……………14:45～15:45 | (2) 地区委員との面談……………15:45～16:15 |
| (3) クラブ協議会……………16:15～18:00 | (4) 例会、表彰とガバナーアドレス……………18:00～19:00 |

対象RC：大津唐橋RC、京都西山RC、生駒RC、奈良東RC、奈良西RC

<夜間例会スケジュール③>

- | | |
|------------------------------|------------------------------------|
| (1) 会長・幹事懇談会……………15:15～16:15 | (2) 地区委員との面談……………16:15～16:45 |
| (3) クラブ協議会……………16:45～18:30 | (4) 例会、表彰とガバナーアドレス……………18:30～19:30 |

対象RC：福井フェニックスRC、京都平安RC、平城京RC

<夜間例会スケジュール④>

- | | |
|------------------------------|------------------------------------|
| (1) 会長・幹事懇談会……………15:45～16:45 | (2) 地区委員との面談……………16:45～17:15 |
| (3) クラブ協議会……………17:15～19:00 | (4) 例会、表彰とガバナーアドレス……………19:00～20:00 |

対象RC：敦賀西RC



国際ロータリー第2650地区
2003～2004年度

事務手続きについて

2003～2004年度 地区幹事長 高橋 秀和

☆クラブの記録文書と財産の引継ぎ

設立当時のクラブ文献や記録文書等、財産の引継ぎは新年度のスタートに当たっての重要事項の一つです。また、前年度からの申し送り事項や経験から生まれた注意事項についても、詳細に受継いで下さい。

☆年度初めの諸手続きと送金の実施

「年間主要事務」によって、それぞれの手続きと送金を速やかにお願いします。

なお、ドル換算レートの変更があると思われるのでご注意ください。

1ドル＝116円（2003年6月1日現在）

☆毎月の出席報告書提出

毎月の会員出席報告は、会員の増減報告とともに所定のカードにより、翌日15日午前中までに、ガバナー事務所必着でお願いします。（厳守）

☆会員の移動報告

会員の入会、退会、その他変更事項（職業分類、会員資格、役職名、住所等）は、必ず速やかにその都度、R I事務局およびガバナー事務所へご報告下さい。

☆半期報告

7月1日と1月1日付けにて、R I事務局にご提出下さい。但し、7月2日～9月30日、及び1月2日～3月31日の間に選ばれた正会員は、10月1日と4月1日にご報告下さい。

☆クラブ例会の理事会裁量による休会（年4回）及び変更の通知

前もって、ガバナー事務所、ガバナー事務所分室及び近隣の各ロータリークラブにご連絡下さい。但し、知らずに来られたビジターに対する受付等、ご配慮下さい。

☆クラブ理事・役員の異動報告

定款に定められたクラブ理事・役員に異動があった場合は、速やかにガバナー事務所へご連絡下さい。

☆クラブ会報の送付と行事の通知

各クラブで発行されている、週報・月報・記念誌等は1部をガバナー事務所に送付して下さい。（週報は1ヶ月分まとめて）

また、各クラブで実施される主な行事の開催要項（行事名、開催日時、行事概要等）を予めガバナー事務所へお知らせ下さい。つとめてガバナー月信により紹介します。

☆会員の種類

正会員及び名誉会員

☆名誉会員の推薦

名誉会員の資格存続期間は1年です。引き続き資格を保持する場合は理事会の決議を必要とします。なお、名誉会員ができる限り諸会合に出席し、会員と交流できるようにご配慮下さい。

☆ガバナー月信

ガバナー月信は、毎月15日発行。冊子ではなく地区HP上に掲示します。会員に閲覧いただくとともに必要数をそれぞれのクラブでダウンロードしていただきたいと存じます。メールマガジンを開設します。クラブや会員からアドレスの登録をいただき、ダイジェスト版を送信いたします。月信第1号(7月1日発行)だけは従来の冊子とし、ガバナーメッセージ、全地区委員長「方針と抱負」、事務手続要領、年間行事予定、会計予算等のお知らせとともに、ダウンロードの方法、メールマガジンの登録方法等を掲載し発行します。

☆会員の訃報連絡

会員に万一ご不幸がありましたら、顔写真を同封の上、速やかにガバナー事務所へご連絡下さい。月信を通じて各クラブ会員にお知らせし、謹んでご冥福をお祈りしたいと存じます。

☆事務手続きについてのご質問

ロータリーの事務手続き、運営上の質疑、定款、諸規定等の解釈についてご不明の点をガバナー事務所にお問い合わせされる場合は、手続要覧等で充分ご検討の上、文書でお問い合わせ下さい。

☆R I 事務局への報告と問い合わせ事項

- 半期報告書と、その関係書類
- 入会・退会・変更異動の報告書 (R I 日本事務局に所定用紙有り)
- 英文出版物及びスライドセット、ビデオ等の注文の問い合わせ
- 英文誌「ザ・ロータリアン」の注文と問い合わせ
国際ロータリー事務局 (ROTARY INTERNATIONAL)
ONE ROTARY CENTER, 1560 SHERMAN AVENUE, EVANSTON,
ILLINOIS 60201, U.S.A
TEL : 001-1-847-866-3000 FAX : 001-1-847-328-8281

☆R I 日本事務局への報告と問い合わせ事項

- 公式名簿記載資料 (次年度会長、幹事を報告)
- 日本語出版物の注文と問い合わせ
- クラブ会長、幹事、例会場、例会日時、事務所等の変更届
- クラブ名称の変更、認証状発行申請等の書類
- ロータリー財団への寄付金、人頭分担金、ザ・ロータリアン誌購読料、その他財務関係
国際ロータリー 日本事務局
〒115-0045 東京都北区赤羽2-51-3 NS3ビル 1F
TEL : 03-3903-3161 (奉仕室) FAX : 03-3903-3781



国際ロータリー第2650地区
2003～2004年度

地区資金会計予算

収入の部

科 目	'01～'02予算	'01～'02決算	'02～'03予算	'03～'04予算
	5,900名	5,900名	5,600名	5,500名
1 地区資金	43,660,000	42,753,500	50,960,000	55,000,000
2 雑収入	10,000	5,219	10,000	10,000
3 繰越金	0	1,262,650	0	0
4 地区大会会計より繰入金	0	913,592	0	0
合 計	43,670,000	44,934,961	50,970,000	55,010,000

支出の部

科 目	'01～'02予算	'01～'02決算	'02～'03予算	'03～'04予算
(A) 委員会活動費				
1 諮問委員会	540,000	614,616	500,000	500,000
2 地区ガバナー指名委員会	40,000	0	40,000	40,000
3 D L P 準備委員会	0	57,150		
4 地区ガバナー補佐指名委員会			40,000	40,000
5 意義ある業績賞委員会	140,000	71,150	150,000	150,000
6 規定審議委員会	120,000	78,851	100,000	100,000
7 広報・雑誌委員会	230,000	151,019	200,000	200,000
8 ロータリー情報委員会	410,000	390,000	400,000	400,000
9 インターネット委員会	750,000	1,364,925	3,612,000	1,050,000
10 職業奉仕委員会	650,000	553,947	600,000	580,000
11 社会奉仕委員会	300,000	290,000	300,000	300,000
12 環境保全委員会	500,000	478,500	450,000	450,000
13 国際交流委員会	900,000	870,000	850,000	1,150,000
14 世界社会奉仕委員会	760,000	653,577	700,000	680,000
15 新世代委員会	4,950,000	4,780,000	4,600,000	4,500,000
16 ローターアクト委員会	5,150,000	4,970,000	5,400,000	5,300,000
17 インターアクト委員会	2,800,000	2,622,211	2,550,000	2,500,000
18 財団補助金委員会				300,000
19 財団年次寄付・恒久基金委員会	1,050,000	1,300,156	3,840,000	1,050,000
20 財団奨学金・財団学友委員会	1,800,000	1,378,389	3,862,000	1,290,000
21 G . S . E . 委員会	6,200,000	5,795,215	5,750,000	5,670,000
22 ポリオ撲滅募金活動キャンペーン委員会			400,000	400,000
23 米山奨学委員会	550,000	505,000	3,290,000	500,000
24 会員増強・0-列-家族・100周年記念委員会	1,010,000	827,088	650,000	650,000
25 拡大委員会	430,000	709,516	400,000	400,000
(A) 小 計	29,280,000	28,461,310	38,684,000	28,200,000
(B) 会議費補助				
1 地区大会費	950,000	920,000	900,000	400,000
2 地区協議会費	290,000	100,269	280,000	270,000
3 合同地区委員会費	2,670,000	2,968,020	2,570,000	2,500,000
4 I . M . 費	480,000	480,000	450,000	440,000
5 会長エレクト研修セミナー費	240,000	230,000	200,000	200,000
6 ガバナー打合わせ会費	280,000	280,000	250,000	240,000
7 ガバナー補佐打合わせ会費			600,000	800,000
8 地区委員長会費	960,000	1,292,665	900,000	880,000
(B) 小 計	5,870,000	6,270,954	6,150,000	5,730,000
(C) 国際会議参加費				
1 国際協議会派遣費	570,000	570,000	550,000	500,000
2 国際大会参加費	470,000	470,000	450,000	200,000
(C) 小 計	1,040,000	1,040,000	1,000,000	700,000
(D) 歓送迎費				
1 R . I . 会長代理記念品代	90,000	90,000	100,000	100,000
2 R . I . 会長代理歓送迎費	300,000	219,575	250,000	250,000
3 直前ガバナー記念品代	480,000	500,000	450,000	450,000
(D) 小 計	870,000	809,575	800,000	800,000
(E) ガバナー会議運営協力費	1,180,000	1,123,240	1,120,000	1,050,000
(F) ロータリー文庫運営協力費	1,770,000	1,733,250	1,680,000	1,590,000
(G) 事務費・雑費	3,500,000	4,236,632	1,450,000	1,300,000
(H) ガバナー事務所分室運営費				15,550,000
(A)～(H) 小 計	43,510,000	43,674,961	50,884,000	54,920,000
(I) 予備費	160,000	0	86,000	90,000
計	43,670,000	43,674,961	50,970,000	55,010,000
次年度繰越金	0	1,260,000	0	0
合 計	43,670,000	44,934,961	50,970,000	55,010,000



国際ロータリー第2650地区
2003～2004年度

幹事報告・送金等主要事務

事 項	報 告 先	送 金 先
1. 半期報告 (Semiannual Report)	● R.I.事務局 ● ガバナー事務所 (写)	
2. 人頭分担金 (Per Capita Dues) 1人当り (前期半年分) 18ドル50セント 後期17ドル50セント 7月1日以降、中途入会者は、10月1日付 8ドル75セント 1月1日以降、中途入会者は、4月1日付 8ドル75セントを分担	● R.I.事務局 ● R.I.日本事務局経理室 (写) 〒115-0045 東京都北区赤羽2-51-3 NS3ビル1階 TEL (03) 3903-3183 FAX (03) 3903-3781	● 国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島 四 郎 三井住友銀行 新宿御苑前支店 口座番号 普通 6733244
3. 「ロータリアン」(The Rotarian) 購読数報告 1冊に付 (半年分) 6ドル		
4. ロータリー財団への寄付 1人当り (1年分) 10ドル (これは7月1日のみ、但し随時・特別寄付可) 新入会員の10ドルの寄付は入会の際	● ガバナー事務所 (写)	● 国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島 四 郎 三井住友銀行 本店営業部 口座番号 普通 0968049 ● 国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島 四 郎 東京三菱銀行 本店 口座番号 普通 1528228
5. ロータリー米山記念奨学会への寄付 1人当り (1年分) ￥1,000以上 (但し中途入会者の場合は半年分追加送金不要)	● (財) ロータリー米山記念奨学会 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館8 F TEL (03) 3434-8681 FAX (03) 3578-8281	● (財) ロータリー米山記念奨学会 三井住友銀行 京橋支店 口座番号 普通 0920373
6. 「ロータリーの友」 購読数報告 1人当り (半年分) ￥1,260 (雑誌を受け取った月より起算、月額一部￥210の計算にて 払い込まれること)	● ロータリーの友事務所 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館8 F TEL (03) 3436-6651 FAX (03) 3436-5956	● ロータリーの友事務所 三井住友銀行 浜松町支店 口座番号 普通 6326314
7. 地区資金 (District Funds) 7月1日現在 会員1人当り (半年分) ￥5,000 1月1日現在 会員1人当り (半年分) ￥5,000	● 国際ロータリー第2650地区 地区資金委員長 ガバナー事務所会計長 中 田 幹 雄	● R.I.第2650地区 2003～2004年度 ガバナー事務所会計長 中 田 幹 雄
8. 地区大会分担金 7月1日現在 会員1人当り (半年分) ￥4,000 1月1日現在 会員1人当り (半年分) ￥4,000	〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台1-7 けいはんなプラザラボ棟9-4 TEL (0774) 95-2650 FAX (0774) 95-0025	● 南都銀行 けいはんなプラザ支店 口座番号 普通 064706
9. I.M.分担金 7月1日現在 会員1人当り ￥3,000		
10. 国際青少年交換特別資金分担金 7月1日現在 会員1人当り (半年分) ￥650 1月1日現在 会員1人当り (半年分) ￥650		
11. 世界社会奉仕特別資金分担金 7月1日現在 会員1人当り (半年分) ￥1,000 1月1日現在 会員1人当り (半年分) ￥1,000		
12. ガバナー事務所 7月1日現在 会員1人当り (半年分) ￥2,500 1月1日現在 会員1人当り (半年分) ￥2,500		
13. ガバナー月信 7月1日現在 会員1人当り ￥750		
14. 2004年R.I.国際大会協力金 7月1日現在 会員1人当り (半年分) ￥2,000 1月1日現在 会員1人当り (半年分) ￥2,000		
15. 地区大会運営協力金 7月1日現在 会員1人当り ￥5,000		

● 7・8・10・11・12・14につきましては、中途入会及び新クラブ設立の場合、その半年分は送金不要です。

● 9・13・15につきましては、中途入会及び新クラブ設立の場合は送金不要です。

● ドル円換算レートは変更されることがありますのでご注意ください。



国際ロータリー第2650地区
2003～2004年度

地区資金会計 特別会計予算

— I.M.会計予算書 —

収入の部

科	目	'00～'01決算額	'01～'02予算額	'02～'03予算額	'03～'04予算額
分	担 金	18,087,000	17,700,000	16,800,000	16,500,000

支出の部

科	目	'00～'01決算額	'01～'02予算額	'02～'03予算額	'03～'04予算額
分	担 金	18,087,000	17,700,000	16,800,000	16,500,000

— 地区大会 会計予算書 —

収入の部

科	目	'00～'01決算額	'01～'02予算額	'02～'03予算額	'03～'04予算額
分	担 金	48,192,000	47,200,000	44,800,000	44,000,000

支出の部

科	目	'00～'01決算額	'01～'02予算額	'02～'03予算額	'03～'04予算額
分	担 金	48,192,000	47,200,000	44,800,000	44,000,000

— 国際青少年交換 特別会計予算書 —

収入の部

科	目	'00～'01決算額	'01～'02予算額	'02～'03予算額	'03～'04予算額
分	担 金	19,288,843	12,980,000	12,320,000	7,150,000

支出の部

科	目	'00～'01決算額	'01～'02予算額	'02～'03予算額	'03～'04予算額
分	担 金	19,288,843	12,980,000	12,320,000	7,150,000

— 世界社会奉仕 特別会計予算書 —

収入の部

科	目	'00～'01決算額	'01～'02予算額	'02～'03予算額	'03～'04予算額
分	担 金	11,282,903	11,800,000	11,200,000	11,000,000

支出の部

科	目	'00～'01決算額	'01～'02予算額	'02～'03予算額	'03～'04予算額
分	担 金	11,282,903	11,800,000	11,200,000	11,000,000

— 米山奨学会 特別会計予算書 —

収入の部

科	目	'00～'01決算額	'01～'02予算額	'02～'03予算額	'03～'04予算額
分	担 金	4,095,318	3,890,000	3,890,000	3,822,500

支出の部

科	目	'00～'01決算額	'01～'02予算額	'02～'03予算額	'03～'04予算額
分	担 金	4,095,318	3,890,000	3,890,000	3,822,500

— 2004年 R.I.国際大会協力金 特別会計予算書 —

収入の部

科	目	'00～'01決算額	'01～'02予算額	'02～'03予算額	'03～'04予算額
分	担 金	24,094,000	23,600,000	22,400,000	22,000,000

支出の部

科	目	'00～'01決算額	'01～'02予算額	'02～'03予算額	'03～'04予算額
分	担 金	24,094,000	23,600,000	22,400,000	22,000,000

— 地区大会運営協力金 特別会計予算書 —

収入の部

科	目	'03～'04予算額	適 用
分	担 金	27,500,000	5,000×5,500名

支出の部

科	目	'03～'04予算額	適 用
分	担 金	27,500,000	

(単位：円)



国際ロータリー第2650地区
2003～2004年度

地区委員会構成一覽表

2003/5/15現在

特別顧問 特別顧問	ロータリー財団元管理委員・R1元理事・R2004年国際大会委員長 国際ロータリー元理事	千 玄 室 (京都) 小 谷 隆 一 (京都) 津 田 雅 夫 (京都) 宮 崎 茂 和 (京都) 西 村 二 郎 (京都)	委員 数	
諮 問 委 員	委 員 会 名	委 員 長	委 員	委員数
	諮 問		千 玄 室 (京 都) 小 谷 隆 一 (京 都) 山 口 善 造 (大 津) 津 田 雅 夫 (京 都) 津 田 雅 夫 (京 都) 山 口 善 造 (大 津) 宮 崎 茂 和 (京 都) 宮 崎 茂 和 (京 都) 山 口 善 造 (大 津) 西 村 二 郎 (京 都) 西 村 二 郎 (京 都) 山 口 善 造 (大 津)	17
	地区ガバナー補佐	石 田 喜 之 (大 津)	増 田 善 宏 (福 井)	6
	地区ガバナー指名	福 井 正 典 (京 都 山 城)	宮 崎 茂 和 (福 井)	6
	地区ガバナー補佐指名	福 井 正 典 (京 都 山 城)	宮 崎 茂 和 (福 井)	7
	意義ある業績賞	岡 村 吾 郎 (奈 良)	宮 崎 茂 和 (福 井)	5
	地 区 資 金	中 田 幹 雄 (京 都 山 城)	池 田 稀 信 (奈 良)	4
クラブ奉仕 中野重宏 (奈良)	規 定 審 議	石 原 義 紀 (福 井 北)	西 田 善 信 (大 津)*	6
	広 報 ・ 雑 誌	村 田 侑 三 (京 都 東)	刀 馬 輝 三 (京 都 南)	7
	ロータリー情報	洲 上 勝 夫 (勝 山)	中 島 辰 男 (若 狭)	6
	インターネット	猪 田 浩 史 (京 都 南)	村 志 知 之 (京 都 中)	5
職業奉仕 大日方弘明 (京都洛西)	職 業 奉 仕	松 岡 秀 晋 (大 和 郡 山)	由 良 徹 (京 都 西)*	8
社会奉仕 西村二郎 (京都南)	社 会 奉 仕	松 井 淳 次 (奈 良 東)	中 川 晋 作 (奈 良)	6
	環 境 保 全	羽 根 史 朗 (權 原)	岡 嶋 雅 司 (王 寺)*	8
国際奉仕 世界社会奉仕 山崎時雄 (彦根)	国 際 交 流 On To 大 阪	山 本 和 秀 (京 都 山 城)	藤 井 眞 一 (京 都 西 北)*	9
	国際青少年交換	松 山 隆 (奈 良)	楠 滋 夫 (亀 岡 中 央)*	10
	世界社会奉仕	前 田 正 一 郎 (奈 良)	近 藤 達 司 (桜 井)*	12
	国際事業特別	山 崎 時 雄 (彦 根)	大 日 方 弘 明 (京 都 洛 西)*	10
新世代 岡村吾郎 (奈良)	新 世 代	森 定 秀 夫 (京 都 西 北)	土 堤 内 清 昭 (平 城 京)*	14
	ローターアクト	木 村 吉 男 (草 津)	大 島 裕 奈 (奈 良)*	10
	インターアクト	加 藤 陽 一 (京 都 西)	赤 松 和 雄 (京 都 洛 西)*	8
ロータリー財団 <地区ロータリー財団委員長> 宮崎茂和 (福井)	財 団 補 助 金	公 文 俊 一 (京 都 北 東)	杉 田 博 義 (桜 井)*	7
	財 団 年 次 寄 付 財 団 恒 久 基 金	勝 見 秀 憲 (守 山)	若 井 繁 敏 (平 城 京)*	14
	財 団 奨 学 金 友	西 村 宗 也 (京 都)	田 中 誠 二 (京 都 東)*	8
	G . S . E .	木 村 憲 一 (福 井)	大 高 門 俊 吾 (福 井 西)	6
	ポリオ撲滅募金活動 キャンペーン	園 田 英 次 (甲 西 石 部)	園 洲 和 治 (八 日 市 南)*	10
米山奨学 坂部慶夫 (京都洛中)	米 山 奨 学	大 島 正 光 (高 島)	中 川 博 補 (京 都 南)*	14
拡大 会員増強 ロータリー家族 100周年記念 山田三郎 (亀岡)	拡 大	今 西 清 悟 (奈 良)	田 中 文 夫 (福 井 南)*	6
	会 員 増 強 ロ ー タ リ ー 家 族 1 0 0 周 年 記 念	吉 本 義 俊 (京 都 山 城)	中 高 大 (奈 良 大 宮)*	11

*印：副委員長 委員：アルファベット順



国際ロータリー第2650地区
2003～2004年度

ガバナー事務所スタッフ名簿(45名)

役 職	担 当	氏 名	TEL (0774)
ガバナー		福井正典	勤 TEL 86-3911 FAX 86-4019 自 TEL 86-2106
地区幹事長		高橋秀和	勤 TEL 72-2321 FAX 72-1600 自 TEL 72-1600
地区副幹事長		駒重則	勤 TEL 72-0322 FAX 72-8111 自 TEL 72-8793
地区副幹事長		山崎彦人	勤 TEL 76-3151 FAX 76-5102 自 TEL 76-2070
地区会計長		中田幹雄	勤 TEL 82-2663 FAX 82-4880 自 TEL 82-2104
地区副会計長		武田治	勤 TEL 86-2247 FAX 86-5076 自 TEL 86-4232
地区副会計		半田隆雄	勤 TEL 95-5131 FAX 95-5132 自 TEL 0742-51-7877
地区副会計		土田秀明	勤 TEL 72-5151 FAX 72-6261 自 TEL 075-393-2989
地区幹事	総務	駒重則	勤 TEL 72-0322 FAX 72-8111 自 TEL 72-8793
地区副幹事	総務	藤本卓司	勤 TEL 22-4301 FAX 0742-23-3562 自 TEL 73-8766
地区副幹事	総務	森田肇	勤 TEL 73-8811 FAX 73-2333 自 TEL 73-2111
地区副幹事	総務	村田秀太郎	勤 TEL 82-5101 FAX 82-4831 自 TEL 82-4061
地区副幹事	総務	奥本隆一	勤 TEL 72-4414 FAX 72-7447 自 TEL 76-2907
地区幹事	公式訪問	谷川國男	勤 TEL 0743-95-2222 FAX 0743-95-2222 自 TEL 0743-95-2222
地区副幹事	公式訪問	藤田武則	勤 TEL 72-0140 FAX 72-0140 自 TEL 72-0140
地区副幹事	公式訪問	福井康裕	勤 TEL 76-5055 FAX 76-6707 自 TEL 76-8291
地区副幹事	公式訪問	高見進	勤 TEL 71-5050 FAX 71-5060 自 TEL 0743-95-2516
地区幹事	月信	富田基雄	勤 TEL 72-0551 FAX 72-1670 自 TEL 72-2315
地区副幹事	月信	荒川昌昭	勤 TEL 63-1111 FAX 63-2363 自 TEL 22-8998
地区副幹事	月信 (インターネット)	橋田裕樹	勤 TEL 94-2366 FAX 94-3686 自 TEL 0743-78-7811
地区副幹事	月信	東洪利	勤 TEL 95-1112 FAX 95-1109 自 TEL 06-6834-6655
地区副幹事	月信	小谷忠賢	勤 TEL 72-8902 FAX 72-9000 自 TEL 72-3950
地区幹事	大会・集会	小西照二	勤 TEL 88-2386 FAX 88-3122 自 TEL 88-2122

役 職	担 当	氏 名	TEL (0774)
地区副幹事	大会・集会	平川泰厚	勤 TEL 0743-69-2100 FAX 自 TEL 73-3115
地区副幹事	大会・集会	久保敬童	勤 TEL 88-4450 FAX 88-4415 自 TEL 88-4450
地区副幹事	大会・集会	大井伸年	勤 TEL 72-0126 FAX 72-8719 自 TEL 86-4574
地区副幹事	大会・集会	尾崎俊幸	勤 TEL 86-2558 FAX 自 TEL 86-2558
地区幹事	委員会	飯田晴穂	勤 TEL 72-6735 FAX 73-0213 自 TEL 72-0005
地区副幹事	委員会	松井克夫	勤 TEL 0743-95-2050 FAX 0743-95-2374 自 TEL 0743-95-2051
地区副幹事	委員会	宮本昭	勤 TEL 0743-94-0033 FAX 0743-94-0417 自 TEL 0742-46-5156
地区副幹事	委員会	中川喜代一	勤 TEL 94-2350 FAX 94-5222 自 TEL 94-2350
地区副幹事	委員会	西岡努	勤 TEL 72-6969 FAX 72-8508 自 TEL 72-1976
地区副幹事	委員会	渡辺和男	勤 TEL 62-8212 FAX 自 TEL 88-5601
地区幹事	新世代	脇田武勝	勤 TEL 82-2449 FAX 82-4484 自 TEL 82-2449
地区副幹事	新世代	石井利幸	勤 TEL 55-3026 FAX 55-5556 自 TEL 93-2031
地区副幹事	新世代	上村卓三	勤 TEL 94-2008 FAX 94-2148 自 TEL 94-4457
地区副幹事	新世代	仲南一弘	勤 TEL 72-1221 FAX 72-8715 自 TEL 76-2140
地区副幹事	新世代	岡林正純	勤 TEL 82-2057 FAX 82-3452 自 TEL 0742-33-4900
地区幹事	国際	木下道信	勤 TEL 72-1669 FAX 72-1669 自 TEL 72-1669
地区副幹事	国際	神田晋	勤 TEL 88-2412 FAX 88-4184 自 TEL 88-4707
地区副幹事	国際	川邊隆司	勤 TEL 86-2069 FAX 86-4825 自 TEL 86-4933
地区副幹事	国際	光橋政憲	勤 TEL 72-1071 FAX 72-6634 自 TEL 72-3290
地区幹事	財団・米山	森岡喜美雄	勤 TEL 76-2111 FAX 76-2012 自 TEL 76-2012
地区副幹事	財団・米山	井川正紘	勤 TEL 82-4031 FAX 82-4039 自 TEL 075-531-6084
地区副幹事	財団・米山	澤見孝成	勤 TEL 94-2543 FAX 94-4309 自 TEL 94-2523
地区副幹事	財団・米山	谷口偉	勤 TEL 72-1922 FAX 73-2733 自 TEL 0743-78-9797

アルファベット順

●ガバナー事務所

〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台1-7 けいはんなプラザラボ棟9-4
TEL : 0774-95-2650 FAX : 0774-95-0025 E-mail : ri2650mf@smile.keihanna.ne.jp
事務職員：柴田 恵子・岡本 淳子・橋本 かおる

●ガバナー事務所分室

〒604-0862 京都市中京区烏丸通夷川上ル少将井町240 京都府商工会議所411号室
FAX : 075-251-0777

●国際青少年交換委員会

担当：樹本 容子 TEL : 075-251-6600 E-mail : d2650yep@themis.ocn.ne.jp

●財団補助金委員会、財団年次寄付・財団恒久基金委員会、米山奨学委員会

担当：西村美江子 TEL : 075-251-6603 E-mail : d2650bun@poppy.ocn.ne.jp

●インターネット委員会、財団奨学金・財団学友委員会、米山奨学委員会

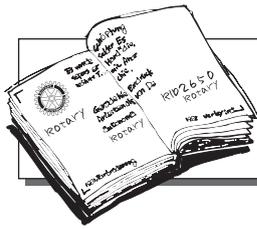
担当：石見 綾子 TEL : 075-251-6602 E-mail : d2650ico@fancy.ocn.ne.jp



国際ロータリー第2650地区
2003～2004年度

I.M. 組織および予定表

組	開催日	ホストクラブ	ゼネラルリーダー	参加クラブ(地区内94 R.C.)
地域	会場名	会長エレクト	I.M. 委員長	
第1組	9月27日(土)	八日市南R.C.	山崎時雄	びわ湖八幡、五個荘能登川、彦根、彦根南、甲西石部、草津、水口、守山、長浜、長浜東、大津、大津中央、大津東、大津唐橋、大津西、近江八幡、栗東、滋賀湖北、高島、野洲、八日市、八日市南 22 R.C.
滋賀	八日市文化芸術会館	武村勸一	向敏男	
第2組	9月13日(土)	舞鶴R.C.	山田三郎	綾部、福知山、福知山西南、舞鶴、舞鶴東、峰山、宮津 7 R.C.
京都北	舞鶴市商工観光センター	土井永一	山雄堯之	
第3組	8月23日(土)	京都モーニングR.C.	山田三郎	亀岡、亀岡中央、京都、京都伏見、京都平安、京都東、京都北東、京都城陽、京都桂川、京都北、京都南、京都モーニング、京都紫野、京都中、京都西、京都西山、京都乙訓、京都洛中、京都洛北、京都洛南、京都洛西、京都洛東、京都嵯峨野、京都西北、京都西南、京都紫竹、京都朱雀、京都田辺、京都山科、京都山城、京都八幡、園部、宇治、宇治鳳凰 34 R.C.
京都南	京都ホテルオークラ	田中和朗	太田和夫	
第4組	10月11日(土)	平城京R.C.	岡村吾郎	五條、平城、生駒、橿原、橿原中央、奈良、奈良東、奈良西、奈良大宮、王寺、桜井、大和郡山、大和高田 13 R.C.
奈良	なら100年会館	中窪啓司	辻本好広	
第5組	10月4日(土)	勝山R.C.	宮崎茂和	福井、福井あじさい、福井東、福井北、福井南、福井西、福井フェニックス、勝山、丸岡、三国、大野、鯖江、鯖江北、武生、武生府中、敦賀、敦賀西、若狭 18 R.C.
福井	勝山市民会館大ホール	島田英博	松村秀紀	



文庫通信 (189号)

新年度にあたり改めてご挨拶申し上げます。

本ロータリー文庫には、常々一方ならぬご協力、ご愛顧を賜り衷心から感謝致しております。今更申し上げるまでもなく、[ロータリー文庫] は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に設立され、33 年の歴史を誇る全日本ロータリアンの資料室です。

ここにはロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1 万 9 千余点が収集・分類・整備され、皆様のご利用に備えております。

ロータリーの研究や諸活動のため、ぜひご利用くださるようお願いいたしております。

☆ 利用方法 ☆

文庫資料は自由に閲覧できますが、電話や書信によるお問い合わせも承ります。お問い合わせは間接では要領を得ない場合がありますので、なるべくご本人から直接お願い致します。

(文庫資料をご希望の場合は)

- ・発行先に在庫のある資料については、発行先をご紹介致します。
- ・絶版のものは実費(1 枚 20 円+送料)でコピーサービスを致します。
- ・重複資料はご希望により無料進呈致します。
- ・ビデオテープは実費(1 巻 800 円+送料)でダビングを致します。

(貸出し)

- ・視聴覚資料(スライド・フィルム)は予約制(申し込み用紙有)で貸出し致します。

(登録資料の紹介)

- ・「資料目録」をクラブ事務所に備付用としてお送りしてありますので、ご利用願います。「目録」をご希望の場合はお申込みください。
- ・「ガバナー月信」に「文庫通信」欄を設けさせて頂き、皆様のご参考になるような資料の紹介を致しております。
- ・「ホームページ」を開設しております。分類別に検索可能です。

(ご寄贈)

- ・個人の著作、クラブ発行のもの、地区発行のもの等々、いずれも内外を問わずロータリーに関する資料をご寄贈願います。文庫に保存して皆様のお役に立てさせて頂きます。

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-3 abc 会館 7F

TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前 10 時~午後 5 時 休館=土・日・祝祭日

● 月信IT化、メールマガジンの概略について ●

ITが普及し、情報のネット化、ペーパーレス化が時代の趨勢となりつつあります。RI本部においてもロータリーにおける情報の伝達をすべてインターネットで行う事になりました。また、月信をインターネットで配信している地区も徐々に増えています。本地区もそれらに習い本年度は月信をIT化いたします。月信のネット化にはご批判やご不満もあると思いますが、新しい試みにご理解、ご協力くださいますようお願いいたします。

…☆ 月信IT化の手順 ☆…

①地区ウェブサイト (<http://rid2650.gr.jp/>) に月信を掲載しますので、会員の皆さんが直接、地区ウェブサイトへアクセスし、ダウンロードしていただくこととなります。またダウンロード環境のない会員には、各クラブで必要数をプリントしてくださいますよう、お願いいたします。月信の購読には登録の必要はございません。

②あらたな会員サービスとして、ウェブサイトに掲載のガバナー月信とは別に、メールマガジンを開設し登録いただいた会員に、月に2回(1日と15日)直接配信いたします。15日配信の月信ダイジェスト版では、月信が掲載されたこと、またおおよその内容をお送りしますので、詳しくは地区ウェブサイトより月信本文のダウンロードをお願いいたします。

なお、このメールマガジンの購読には登録が必要です。

→ (<http://rid2650.gr.jp/ml/mmgreg.html>)

③重要な親書的部分は書面として、各クラブ会長宛に郵送いたします。

…☆ 月信のダウンロード方法 ☆…

①地区ウェブサイト (<http://rid2650.gr.jp/>) 表紙の「ガバナー月信」をクリックしていただくか、あるいは http://rid2650.gr.jp/2003/gov/gov_monthly.html に直接入ってください。

②ダウンロードしたい月信のPDFマーク()を右クリックし、表示されたポップアップ・メニューから「対象をファイルに保存」を選んでダウンロードしてください。

③ダウンロードが完了した後、Adobe Acrobat Reader を使用してファイルを開いてください。

* PDF ファイルをご覧いただくには、無償配布の Adobe Acrobat Reader が必要となります。→

(<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>)

* なお、通信速度によっては、数十分ほどかかる場合もあります。

* 月信掲載直後はアクセスが集中して混み合うことが予想されます。もしアクセスできないようであれば、少し時間を置いてから、再度お試しください。

…☆ メールマガジンの概略 ☆…

月に2回(1日と15日)、登録いただいた会員にメールマガジンを直接配信いたします。1日には、会員動静(ご逝去会員、前月の入会者)、ガバナーの今月の予定、今月のクラブ行事を配信いたします。15日には、月信のダイジェスト版を配信いたします。登録方法は、地区ウェブサイト (<http://rid2650.gr.jp/>) 表紙の「メールマガジン登録」をクリックしていただくか、あるいは直接 <http://rid2650.gr.jp/ml/mmgreg.html> からご登録ください。

メールマガジン購読開始・解除URLにアクセスすると、以下の画面が出てきますので、手順にしたがい、登録してください。

Rotary International
District 2650
国際ロータリー第2650地区メールマガジン
購読開始・購読解除はこちらから
※購読解除の場合はアドレスのみで結構です

●ご氏名 (1) ※漢字で記載願います。
●所属 (2) ※(例)京都FC
●Eメール(必須) (3) ※半角英数字で正確に記載願います。
●メールマガジン購読 購読開始 購読解除 (4)
●その他連絡事項 (5)

(6) 登録・削除(送信)

- (1) ご氏名を漢字でご記入ください。 (4) 購読開始か購読解除かにチェックを入れてください。
 (2) 所属クラブを日本語でご記入ください。 (5) 何かご希望等がありましたら、お気軽にお書きください。
 (3) メールアドレスを誤りなくご記入ください。 (6) 最後に「登録・削除(送信)」ボタンを押してください。

正常に登録が完了すれば、以下の「登録完了」画面が出ます。



登録されたメールアドレスに「RID2650 メールマガジン購読開始の確認」というタイトルのメールが届きますので、必ずご確認ください。もしメールが届かない場合は、アドレス間違い等が考えられますので、最初からやりなおしてください。

…☆ 各種アドレス ☆…

RI第2650地区 URL : <http://rid2650.gr.jp/>

月信インターネット化への手順とお願い : <http://rid2650.gr.jp/2003/gov/ml.html>

ガバナー月信ダウンロードコーナー : http://rid2650.gr.jp/2003/gov/gov_monthly/html

メールマガジン購読開始および解除 : <http://rid2650.gr.jp/ml/mmgreg.html>

Rotary International Web : <http://www.rotary.org/>

Rotary Japan Web : <http://www.rotary.or.jp/>

2004年国際大会(関西) URL : <http://www.2004kansai.jp/>

☆その他何かお分かりにならない点がありましたら、ガバナー事務所までお尋ねください。